

# 目 次

目 次	1
1. 2003年度の主な活動	3
*2003年度の入館者一覧	4
2. 資料の収集・利用	5
2-1 資料の収集	
(1) 受 贈	
(2) 購 入	
(3) 寄 託	
2-2 資料の利用	6
(1) 貸 与	
(2) その他	
3. 展示活動	7
3-1 常設展示	
(1) 歴史展示	
(2) 美術・工芸展示	9
(3) 別館展示	15
3-2 特別展示	17
(1) 自主企画展	
(2) 共催展等	19
*2003年度特別展の開催状況一覧	21
(3) 館外共催事業	
(4) 京都府民ギャラリー事業への協力	
3-3 映 画	22
(1) 常設上映	
(2) 特別上映・共催事業	23
(3) 映像ギャラリー常設展示	
(4) 京都府映像文化センター運営委員	24
4. 調査研究活動	25
4-1 学芸員の活動	
(1) 博物館研究費による研究	
(2) 外部研究費・共同研究等による研究	
(3) 出講・委嘱	
(4) 学芸員の業績	
5. 普及活動	28
5-1 出版物	
(1) 京都文化博物館研究紀要『朱雀』	
(2) 京都文化博物館年報	
(3) 展覧会図録	

(4) その他			
5-2 講演会・音楽会	…	…	29
(1) 講演会など			
(2) 音楽会			
5-3 博物館実習	…	…	30
5-4 その他の活動	…	…	31
(1) 資料閲覧室			
(2) 文化情報コーナー			
(3) 生涯学習ボランティア			
(4) 京都文化博物館友の会			
(5) 地域との連携	…	…	32
6. 国際交流	…	…	33
6-1 陝西歴史博物館友好交流事業			
6-2 その他の交流事業			
7. ギャラリー事業	…	…	34
7-1 5・6階展示室			
(1) 京都文化財団展示室運営委員会			
(2) 美術・工芸作家の利用			
(3) 生涯学習的発表期間の利用	…	…	35
(4) 一般の利用	…	…	36
7-2 別館ホール			
8. 管理・運営	…	…	38
8-1 組織と職員			
(1) 組織			
(2) 京都文化財団役員			
(3) 京都文化博物館職員			
8-2 施設	…	…	39
(1) 本館関係			
(2) 別館関係			
8-3 ろうじ店舗			
9. 2003年度のあゆみ	…	…	41

## 1. 2003年度の主な活動

開館15周年にあたるこの年は、開館以来の大きな節目の年として、6月には荒巻禎一館長、安井恒夫副館長の新体制の発足という人事・組織面をはじめ、展示企画、活動プログラム、将来展望などに関してさまざまな試みや検討が始まった。

こうした動きの一環として、京都府庁内に「京都文化博物館の活性化検討会」が設置され、各方面の識者から率直な意見と提言をいただき、博物館の将来像のあるべき姿が検討されることになった。会合は年度内に、10月4日（第1回）、11月12日（第2回）、12月11日（第3回）、2004年1月19日（第4回）の計4回開催された。なお、4月5日の第5回会合で提言が議論され、4月23日に知事に提言された。検討会では別館（重要文化財・旧日本銀行京都支店）の一層の有効で活発な利用、開館20周年に向けての常設展示の改訂、魅力的で京都の博物館にふさわしい展覧会の企画、新しい発想での博物館事業の展開などが検討された。

自主企画展は、春には学芸第二課が「京の葵祭展—王朝絵巻の歴史をひもとく—」を、秋には学芸第一課が「夢とロマンでつづる KYOTO 映像フェスターフィルム・ルネッサンス—」を開催した。

葵祭といえば、『枕草子』での「祭りのかえさ」を見て楽しむ様、『源氏物語』での「車争い」の場面のように、ともすると雅やかな行列に目を奪われがちだが、これは朝廷の使者が社前に向かう姿にすぎない。祭りの主体はあくまでも社頭での神迎え、神送りであり、葵祭の神事のあり方はおごそかで素朴なものであることを説き、観光の葵祭像とは別に、歴史的に継承されてきた葵祭の本来の性格を多くの皆さんに訴えかけることができた。

定評あるフィルムライブラリーを有し、博物館の3本柱の一つである映像部門としては、「映像フェスタ」は念願の特別展であった。映画産業華やかなりし頃の映画界をポスター、写真で紹介する一方、映画制作の場面を再現したセットを設けるなど、来場者の皆さんに映画の素晴らしさを身近に感じてもらうように努めた。このほか各種の上映企画などを通じて、多様化する映像文化の現在・未来を検証しながら、映画素材ならではの展覧会とすることができた。

ともに当館らしい展覧会であったといえることができるが、入場者は「京の葵祭」展が15,296人、「映像フェスタ」が14,002人と、芳しくなかった。8件の特別展の総入場者数134,784人で、一昨年の水準には達しなかったものの前年をかなり上回ることができた。それに加えて、常設展示の入場者数も63,641人で増加した。常設展示における月々の企画が認知度をましたためであろうか。

◇常設展における特別展関連企画の試み 歴史篇その1 「年中行事絵巻 巻二 関白賀茂詣」（4月8日～5月18日）

4月12日から5月18日まで開催した特別展「京の葵祭展—王朝絵巻の歴史をひもとく—」の関連企画として、2階の歴史展示特別陳列コーナーで「年中行事絵巻 巻二 関白賀茂詣」の展示を行った。『年中行事絵巻』は原本が失われ、江戸時代の模本数種が伝わるのみである。展示資料は京都府画学校初代西洋画科教師であった小山三造旧蔵の品であるが、模本中の優品であり、時の摂政関白が多くの従者をつれ下鴨・上賀茂両神社を参詣する様は、中々見ごたえがあった。

◇常設展における特別展関連企画の試み 歴史篇その2 「陰陽道の周辺」(8月5日～9月7日)

7月12日から8月17日まで開催した特別展「安倍晴明と陰陽道展」の関連企画として、2階の歴史展示特別陳列コーナーで「陰陽道の周辺」を特集した。江戸時代の平安京研究書『大内裏図考証』中の陰陽寮に関する記述や、呪いに用いられた平安京出土遺物など陰陽道に係わる諸資料が展示され、陰陽道の周辺をよりリアルに感じさせる興味深い展示であった。

このほかにも、映像部門では名作映画のリクエスト上映企画、土日祝日の来館者への記念グッズのプレゼント、1階ろうじ店舗のイベント「ろうじまつり」の開催、京都府・京都市・京都商工会議所主催の「きものの似合うまち・京都」づくり、文化庁の「関西文化の日」への協力などを行った。

◇常設展における特別企画の試み 美術・工芸篇 「京都・洋画の現在～85人の視点～」(7月9日～10月7日)

常設展における「特別企画」の試みとして、「京都・洋画の現在～85人の視点～」を開催した。多彩な才能を輩出してきた京都の洋画壇の今を紹介する企画として、京都を活動の拠点とする洋画家85人の大作を前・後期に分けて出品するとともに、京都画壇の礎として寄与した物故14人の小品をあわせて、一人一点、計99点出品した。常設展での実施であったが、出品者の協力を得て、従来の常設展の枠組みを越えて、シンポジウムやギャラリートークの開催をはじめ、ポスター、チラシを作成して広報につとめた結果、5,000人を超える入場者があった。

2003年度の入館者一覧

(単位：人)

年月	常設展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
2003.4	2,740	1,616	4,356	2,707	2,910	5,617	5,447	4,526	9,973	2,424	5,361	590	8,375	18,348
5	4,807	1,933	6,740	4,699	6,001	10,700	9,506	7,934	17,440	2,952	3,796	550	7,298	24,738
6	3,085	1,958	5,043	10,972	8,290	19,262	14,057	10,248	24,305	4,215	6,650	2,951	13,816	38,121
7	3,106	2,110	5,216	15,096	6,178	21,274	18,202	8,288	26,490	3,567	1,622	480	5,669	32,159
8	5,061	2,902	7,963	20,594	8,609	29,203	25,655	11,511	37,166	2,528	3,037	820	6,385	43,551
9	4,184	2,433	6,617	3,175	3,442	6,617	7,359	5,875	13,234	3,106	4,426	950	8,482	21,716
10	4,780	1,992	6,772	2,254	3,343	5,597	7,034	5,335	12,369	4,066	9,655	1,063	14,784	27,153
11	3,868	2,254	6,122	3,761	7,050	10,811	7,629	9,304	16,933	5,725	4,496	0	10,221	27,154
12	2,162	1,073	3,235	2,669	1,738	4,407	4,831	2,811	7,642	2,566	2,674	2,628	7,868	15,510
2004.1	2,098	1,089	3,187	2,931	3,782	6,713	5,029	4,871	9,900	3,359	2,028	140	5,527	15,427
2	2,719	1,281	4,000	2,575	3,492	6,067	5,294	4,773	10,067	2,275	2,873	2,118	7,266	17,333
3	3,147	1,243	4,390	3,928	4,588	8,516	7,075	5,831	12,906	3,203	5,455	2,230	10,888	23,794
年度計	41,757	21,884	63,641	75,361	59,423	134,784	117,118	81,307	198,425	39,986	52,073	14,520	106,579	305,004
1日平均	136	71	207	325	256	581								

## 2. 資料の収集・利用

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立総合資料館所蔵資料のうち、当館が管理をする美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料（博物館資料）をいう。これらの資料

については、当館の設立以来、その収集、管理、展示公開業務を総合資料館から委託されており、具体的には同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館で行うとともに、収集・利用等についても、その業務を当館で行ってきている。

なお、2003年度末での管理資料は51,011点、寄託資料が339点、一時保管資料が622点であった。

### 2-1 資料の収集

#### (1) 受 贈

##### ①管理資料

分野	作者	資料名	点数	分野	作者	資料名	点数	
人形		立雛ほか	2点	洋画	中野庸二	「IRO TOKIDOKIシリーズ私風景 5つのbuoy」	1点	
日本画	田能村直入	「一路功名・鶏群鶴立図杉戸下絵」ほか	4点	洋画	伊藤久三郎	「帽子その他」ほか	8点	
日本画	谷口霧山	「山水図」ほか	8点	写真	濱岡 昇	「京の百景」製作者ポートレートネガフィルムほか	2点	
日本画	橋田二郎	「秋色草花譜」ほか	3点	版画	郭 徳俊	「フォードと郭 (A)」	1点	
人形		嶋谷家端午節句飾一式	1点	日本画	清水正志	「小さな律」	1点	
人形		武者人形 (五体組)	1点	日本画・版画・風俗	吉川観方	「初代中村隅治郎」ほか	8点	
陶芸		石皿	1点	日本画	案本一洋	「壺摘み」ほか	7点	
民俗		洗面器ほか	6点	陶芸	竹中 浩	「白磁面取大壺」	1点	
洋画	中原史雄	「或る風色の残像96-7」	1点	日本画	案本一洋	「湖畔晴日」「秋」	2点	
計							18件	58点

#### (2) 購 入

種別	分野	作者	資料名	点数	分野	作者	資料名	点数
管理資料	日本画	月岡雪鼎	「衣通姫図」	1点	日本画	狩野永俊	「楼閣山水図」	1点
計								2件 2点

#### (3) 寄 託

種別	分野	件数	件数	分野	件数	分野	件数	分野	件数	計	
館資料	日本画	1件 1点	古文書	21件 22点	典籍	20件 233点	絵図	17件 19点	複製模本	1件 1点	
	貴重遺物	83件 501点	一般遺物	2件 6点	複製模型	3件 3点	参考資料	1件 1点		149件 787点	
管理資料	日本画	6件 17点	陶器	2件 98点	民俗	3件 219点	武具	1件 4点	染織	1件 1点	13件 339点



2003年度受贈資料  
(案本一洋「秋」)



2003年度受贈資料  
(伊藤久三郎「帽子その他」)

## 2-2 資料の利用

### (1) 貸与

#### ①館資料

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
考古	西賀茂瓦窯跡出土軒瓦	2点	吹田市立博物館	常設展示
考古	西賀茂瓦窯跡出土軒瓦	2点	向日市文化資料館	常設展示
模型	南座周辺復元模型	1点	京都府立総合資料館	開館40周年記念総合資料館名品展
				計 3件 5点

#### ②管理資料

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
日本画	秋野不矩「初冬」ほか	2点	毎日新聞社総合事業局	「秋野不矩展」
日本画	郡関月「妖怪十二月図」	1点	長野市立博物館	「あの世・妖怪・占い・異界万華鏡」展
日本画	小野竹喬「はざまの路」ほか	3点	富山県水墨美術館	「よみがえる日本の原風景 小野竹喬の世界展」
日本画	朝鮮通信使来朝図	1点	京都造形芸術大学芸術館	「朝鮮通信使と画人大岡春卜」展
日本画	三橋節子「余呉の天女」ほか	2点	三橋節子美術館	「湖国・大津と三橋節子展」
染織	竹に段辻が花染裂	1点	京都府立丹後郷土資料館	「再現! 桃山時代の小袖」展
金工	斎田梅亭「截金交菱文飾筥」	1点	朝日新聞社事業本部	「わざと美」展
金工	斎田梅亭「截金波頭文飾筥」	1点	朝日新聞社事業本部	「わざと美」展
日本画	原在明「新嘗祭図」ほか	2点	霞会館	「知られざる幕末の朝廷—仁孝天皇—泰平の余芳—」
日本画、洋画、版画	津島徹「水ぬるむ」ほか	24点	京都府文化芸術室	京都府庁内展示
日本画	西川祐信「衣通姫図」	1点	サントリー美術館	「躍動する女たち—女性像の多彩な美—」
郷土玩具	中国玩具「搬不倒」ほか	162点	龍野市立歴史文化資料館	「中国東北部の玩具」展
日本画	三条西実隆像(模本)	1点	歴史館いずみさの	「泉南の街道と名所をゆく」展
染織	松皮取草花文辻が花染裂地	1点	メトロポリタン美術館、岐阜県美術館	「織部の美と桃山文化」展
民具	唐箕	1点	日吉町郷土資料館	「農具はココがおもしろい」展
人形	御殿雛飾りほか	10点	庄内観光コンベンション協会	「雛祭古典人形」展
陶芸	錦光山宗兵衛「上絵金彩婦人図香炉」ほか	2点	愛知県陶磁資料館	「近代窯業の父コットフリート・ワグネルと万国博覧会」展
歴史	七卿落図屏風	1点	東京都江戸東京博物館	「新選組」展
				計 18件 217点

#### (2) その他

種別	撮影	観覧	寄託資料—持ち出し					
			分野	資料名	点数	申請者	使用目的	計
館資料	68件 98点	6件	考古	デンマーク石器コレクション	21点	古代学協会	研究	2件 42点
			考古	デンマーク石器コレクション	21点	古代学協会	研究	
管理資料	23件 36点	13件 40点	民俗	鞍馬火祭資料	4点	鞍馬火祭保存会	祭礼	1件 4点

### 3. 展示活動

#### 3-1 常設展示

##### (1) 歴史展示

歴史の常設展示は、大きく二つの部分に分けられる。一つは京都の町の歴史の概観的な展示で、平安京以前の京都盆地の姿を示すプロローグに始まり、平安京の誕生から明治・大正までを四つのテーマに分けて展開する。

いま一つは、ある時間的な幅のなかでは位置づけることのできない文化事象から、町衆によって育まれてきた京都文化を代表する四つのテーマを選んで展示する集中展示であり、あわせてそれらが繰り広げられた場としての京都を絵画資料に見るものである。

この歴史の常設展示は、模型や映像・図表を中心に説明的に展開することを原則としているため、実物資料が大変少ない展示となっており、時折不満の声も聞かれた。その欠を補うという意図もあって、2001年度から歴史展示室の北端に展示ケースを新設して、新たに「特別陳列コーナー」を設けた。ここでは、一定のテーマを設定し、ふさわしい資料を主として館蔵資料と寄託資料の中から選んで展示している。概観展示ならびに集中展示の詳細については『京都文化博物館10年のあゆみ』（1999年）を参照されたい。

##### ①特別陳列コーナー

##### ◇京の葵祭展開連企画 『年中行事絵巻』巻二 関白賀茂詣

概要：年中行事絵巻は一年の儀式を題材に12世紀後半の後白河院政期に成立した絵巻物である。年中行事絵巻の原本は伝わらず、江戸時代の模本が数種類伝わっているにすぎない。そのうち、関白賀茂詣は、賀茂祭関連行事の一つで、勅使奉幣が行われる前日に、時の関白が多くの従者を引き連れて、下上両賀茂社へ参ったときの様子を描いたものである。

期間：2003年4月8日～5月18日

作品：小山本『年中行事絵巻』巻二

担当：土橋 誠

##### ◇発掘速報展 旧梅屋小学校跡地発掘調査 一茶と煙草一

概要：旧梅屋小学校跡地（上京区）の発掘調査速報展。おもに茶陶を中心に近世陶磁器、キセル（雁首と吸口）、参考資料として京都府立総合資料館所蔵の根付け、絵画資料を展示した。また、関連企画として『おしえ

て！ 考古学』と題した子ども体験コーナーを併設。おもに子どもを対象に考古学に触れて学んでもらえる展示を試みた。発掘調査と遺物整理の道具の展示や映像配信システムによる考古学作業解説、発掘現場を映像でたどる「井戸巡り」、復習クイズなどのほか、「触ってみよう」「くっつけてみよう」の実物を触れるコーナーを設けた。テクノシステム（株）との共同研究の成果を反映させた。NPO法人フィールドミュージアム文化研究所協力。

期間：2003年5月20日～7月6日

作品：発掘資料（近世茶器・食器、キセル）、参考資料（根付け）

担当：南 博史

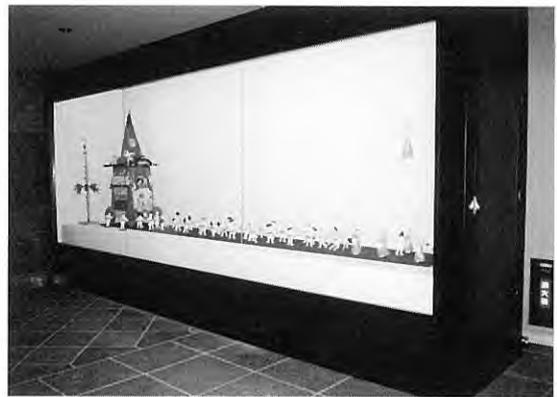
##### ◇祇園祭菊水鉾巡行模型

概要：菊水鉾と、その隣子方や曳き手など66体の人形を備えた模型で、祇園祭のハイライトである巡行の様子を再現する展示。「ひこばえ会」による作品で、鉾の縄絡み構造などの細部まで表現されている。

期間：2003年7月8日～8月3日

作品：祇園祭菊水鉾巡行模型一式（当館管理）

担当：植山 茂



2003年7月 特別陳列「祇園祭菊水鉾巡行模型」  
（2階常設展示室）

##### ◇「安倍晴明と陰陽道展」関連企画 陰陽道の周辺

概要：江戸時代に書かれた平安時代の研究書である『大内裏図考証』のうち、陰陽寮について書かれたところや、物忌などを行ったこ

とを書いた『源氏物語』等の文献、また呪術に用いられた平安時代の考古遺物を展示して、陰陽道が具体的に生きたものとして活用されていたことを示す。まじないや占いの世界を垣間見ることで、陰陽道の世界を紹介。

期 間：2003年8月5日～9月7日

作 品：木簡（3点）、墨書土器（17点）、人形（1点）灰釉陶器（1点）

担 当：土橋 誠

#### ◇坂本龍馬の手紙―幕末の京都―

概 要：江戸時代末期、京都は再び政治の表舞台に押し出され、尊王運動、攘夷運動、公武合体運動から討幕へと、政情は目まぐるしく動いた。その中で活躍した一人が土佐出身の坂本龍馬で、伏見の寺田屋に伝わった龍馬の書状を展示した。

期 間：2003年9月9日～10月13日

作 品：「坂本龍馬書簡」「七卿落図屏風」(当館管理)

担 当：大塚活美

#### ◇狩野益信筆 洛中洛外図屏風

概 要：金地に細密画で描く洛中洛外図とは異なり、筆墨を主に、淡い朱を混ぜて粗略な感じに描いた洛中洛外図。筆者は狩野探幽の弟子である狩野益信。右隻には誓願寺から清水寺、左隻には八幡から大徳寺までを描く。

期 間：2003年10月15日～11月16日

作 品：狩野益信筆「洛中洛外図屏風」

担 当：大塚活美

#### ◇『源氏物語』名場面集

概 要：平安時代中期に紫式部によって書かれた長編小説『源氏物語』はすでに原本は失われ、写本が残されているにすぎない。重要文化財大島本源氏物語は、室町時代後期の山口の守護大名大内政弘の依頼で、京都の公家の飛鳥井雅康が筆写したもので、このなかから源氏物語の名場面を紹介。

期 間：2003年11月18日～12月14日

作 品：「大島本源氏物語」巻など4冊、「紫式部日記絵詞」秋のけわひ1巻

担 当：土橋 誠

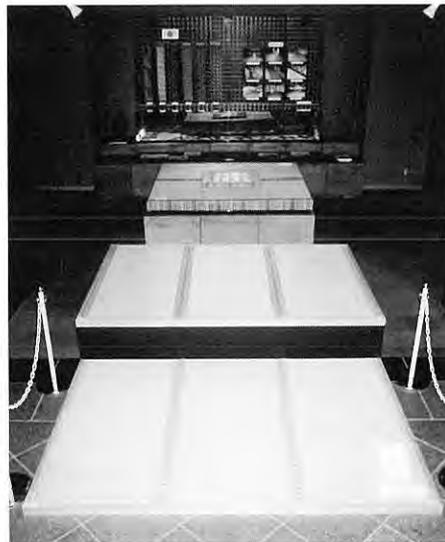
#### ◇京都考古学シリーズ5 京の町なかで発見された弥生時代の遺跡―長刀鉾町遺跡

概 要：近年の京都市内の発掘調査で、平安京創建以前の遺跡がかなり発見されてきている。このうち、京都の市街中心部の長刀鉾町遺跡から発掘調査で出土した弥生時代の石器類と土器類を展示した。

期 間：2003年12月16日～2004年4月4日

作 品：弥生時代の石器18点、弥生土器25点（長刀鉾町遺跡ほか）

担 当：植山 茂



2003年5月 集中展示「畳」  
(2階常設展示室)

②展示替え（概観展示・集中展示）

展示テーマ	展示項目	資料名	点数	展示期間
武者の世に	京に集う	京都市内出土茶陶類	(**)	8点 2003. 6.17~
京洛四季	京の商い	看板・暖簾・算盤箱・一斗樹・天秤	(*)	5点 2003. 4.22~2003.10.19
		看板(2点)・売菓手提箱・五合樹・一升樹・糸秤	(*)	6点 2003.10.21~2004. 4.18
古都飛翔	明治の洋食器	染付草花模様小水差(幹山伝七作)・染付草花模様紅茶碗(三代清風作)・染付草花模様蓋付肉皿(幹山伝七作)・染付草花模様蓋付平鉢(三代清風作)・染付四季花卉模様肉皿(三代清風作)・染付草花模様小判形皿(幹山伝七作)・染付草花模様台付盛皿(幹山伝七作)	(*)	8点 2003. 4.22~2003. 7.21
		染付草花模様蓋付スープ鉢(幹山伝七作)・染付草花模様スープ皿(三代清風六兵衛作)・染付草花模様ソース鉢(和気亀亭作)・染付草花模様蓋付水鉢・染付草花模様蓋付鉢(以上、幹山伝七作)	(*)	7点 2003. 7.23~2003.10.19
		染付草花模様水差(幹山伝七作)・染付草花模様紅茶碗(2点/三代清風与平作)・染付草花模様皿(四代高橋道八作)・染付ブドウ酒呑(和気亀亭作)・染付草花模様砂糖入・染付草花模様台付盛皿(以上、幹山伝七作)	(*)	7点 2003.10.21~2004. 1.18
		染付草花模様蓋付スープ鉢(幹山伝七作)・染付四季花卉模様スープ皿(三代清風与平作)・染付草花模様ソース鉢(和気亀亭作)・染付草花模様蓋付肉皿・染付草花模様小判形皿・染付草花模様台付盛皿(以上、幹山伝七作)	(*)	7点 2004. 1.20~2004. 4.18
		和歌の家一冷泉家七夕色紙・藤原系系図・角罫	(**/*)	3点 2003. 6.17~2003. 9.15
集中展示	宗家の地	琵琶の家一楽琵琶・源氏物語絵巻(複製)	(**/**)	2点 2003. 9.17~2003.12.14
		蹴鞠の家一蹴鞠・関係写本・蹴鞠扇	(*)	7点 2003.12.16~2004. 3.15
		琴の家一琴・源氏物語絵巻(複製)	(**/**)	2点 2004. 3.16~2004. 6.20
		狂言面一武悪・乙・犬(協力:茂山家)		3点 2003. 6.17~2003. 9.15
	能と狂言	籬二菊文様葛扇・紺地秋草文様鬘帯・朱地洞箔柳二松竹梅文様鬘帯・朱地霞二桐文様腰帯・白地山吹文様腰帯(協力:金剛家)		5点 2003. 9.17~2003.12.14
		狂言面一延命冠者・乙・猿(協力:茂山家)		3点 2003.12.16~2004. 3.14
		天人揃葛扇・紺地蝶丸文様鬘帯・赤地菊文様鬘帯・牡丹唐草文様腰帯・忍草御所草文様腰帯(協力:金剛家)		5点 2004. 3.16~2004. 6.20
	匠の世界	左官一壁塗り模型・壁塗り見本など(協力:田代千治店)		一式 2002.10.22~2003. 5.18
		畳一縹網縁(協力:畳三中村三次郎商店)		一式 2003. 5.20~2003.11.30
		漆塗一漆塗り道具・製品など(協力:平尾伝右衛門)		一式 2003.12. 2~2004. 6.20
京のまつり	祇園祭長刀鉾模型	(**)	1点 2003. 6.17~2003. 9.15	
	牛祭	(*)	8点 2003. 9.17~2003.12.14	
	祇園祭月鉾模型(大)	(**)	1点 2003.12.16~2004. 3.14	
	祇園祭月鉾模型(小)	(*)	2点 2004. 3.16~2004. 6.20	

※ ( )内の\*印の資料は京都府立総合資料館蔵(京都文化博物館管理)、\*\*印の資料は当館蔵

(2) 美術・工芸展示

◇京都の美術・工芸展 京都府所蔵品展一近年の収蔵品から一

概要:平成8年度以降に寄附や購入などによって 作品:日本画22点、洋画9点、版画6点、彫刻3点、陶芸10点、染織17点、人形9点、木工芸1点  
 収蔵した作品の中から、優品を出品し、京都の美術・工芸品の収集について紹介。

期間:2003年4月5日(土)~7月6日(日)

分野	作品名	作家名	制作年	展示期間	分野	作品名	作家名	制作年	展示期間
日本画	嶽齋残雪	河野秋邨	1970年	全期	日本画	北の大地	山岸 純	1994年	全期
日本画	洛東祇園夜趣	河野秋邨	1986年	全期	日本画	地の景	池庄司淳	2001年	全期
日本画	洛西嵐峡夕照	河野秋邨	1986年	全期	日本画	仏母尊像	坂根克介	2000年	全期
日本画	雪の日の東京駅	山本知克	1979年	全期	日本画	去りし日	山田 伸	2002年	全期
日本画	町並	山本知克	1983年	全期	日本画	花鳥図屏風	露木石門	江戸後期	前期
日本画	いつか来た街	山本知克	1995年	全期	日本画	高士騎牛図	大西酔月	江戸後期	前期
日本画	干潟	水田慶泉	1959年	全期	日本画	牡丹図	世継希僊	江戸後期	前期
日本画	舞妓	赤松 燎	1971年	全期	日本画	寿老人図	勝山琢如	1858/ 安政5	後期
日本画	ようこうろの男	赤松 燎	1945~55年	全期					
日本画	民家	劉 銘義	2000年	全期					

日本画	林和靖図	鶴澤探山	1724/ 享保9	後期	陶 芸	花模様磁花瓶スイトピー	中島 清	1947年	全期
					陶 芸	鉄釉ふて投つぼ	中島 清	1951年	全期
日本画	五節句図	鶴澤探山	1727/ 享保12	後期	陶 芸	耳付象嵌花瓶	中島 清	1952年	全期
					陶 芸	染錦盒子櫃の里	松風栄一	1982年	全期
日本画	墨裾図	鶴澤探山	1731/ 享保16	後期	染 織	有紋薄物着物「陽苑」	細見華岳	1989年	後期
					染 織	春風来	西嶋武司	1980年	前期
日本画	富士図	鶴澤探山	江戸後期	後期	染 織	冬日	西嶋武司	1988年	前期
洋画	Opera N '96-1	真野岩夫	1996年	全期	染 織	行雲	西嶋武司	1983年	後期
洋画	飛行	小牧源太郎	1987年	全期	染 織	残月	西嶋武司	1991年	後期
洋画	ラブ・ラブ・ミイミイ	小牧源太郎	1989年	全期	染 織	双噴煙	中井貞次	1992年	前期
洋画	ふくろうと石 (A)	金田辰弘	1980年	全期	染 織	古都有情 (京都) パート1	伊砂久二雄	1994年	後期
洋画	白い自画像	金田辰弘	1992年頃	全期	染 織	花喜蒲島の虹	三浦景生	1988年	後期
洋画	化	齋藤真成	1978年	全期	染 織	れんこんとかりふらわー	三浦景生	1995年	前期
洋画	マヌカンの部屋	中村善種	1992年	全期	染 織	刺繍訪問着立鼓亀甲文 (四季)	福田喜重	1996年	前期
洋画	朝陽イスタンブール	大熊 峻	1999年	全期	染 織	千年椿Ⅲ	寺石正作	1998年	後期
洋画	干薔薇と女	三尾公三	1985年	全期	染 織	椿	寺石正作	1999年	前期
版画	迷彩譜10	黒崎 彰	1978年	全期	染 織	つぼみA・つぼみB	澁谷和子	1999年	前期
版画	黒の軌跡	黒崎 彰	1981年	全期	染 織	雨去りぬ	福本三木	1965年	後期
版画	アウト・オブ・タイム-24	木村光佑	1970年	全期	染 織	夜行	福本三木	1969年	後期
版画	くつしたを穿く女	吉原英雄	1984年	全期	染 織	雨後	福本三木	1964年	後期
版画	透明な時間	吉原英雄	1984年	全期	染 織	青いざわめき	福本三木	1979年	前期
版画	Paper and paper	井田照一	1968年	全期	人 形	柿の秋	西村喜代	1987年	全期
彫刻	クエルダ	五次 勝	1993年	全期	人 形	陽光	西村喜代	1994年	全期
彫刻	魔術師の変貌-133	藤庭賢一	1993年	全期	人 形	看花	林 駒夫	1994年	全期
彫刻	稚	藪内 弘	1968年	全期	人 形	浮世の又平	福島秀子	1985年	全期
陶芸	染付豆陽筒花生	浅見隆三	1954年	全期	人 形	火焰	福島秀子	1975年頃	全期
陶芸	華文桃香炉	浅見隆三	1949年	全期	人 形	梳る	足利典子	1971年	全期
陶芸	赫釉花器	市川通三	1979年	全期	人 形	秋明	足利典子	1996年	全期
陶芸	印花魚紋壺 白瓷	叶 光夫	1954年	全期	人 形	童女	大林蘇乃	1961年頃	全期
陶芸	鉄釉面取花瓶	叶 光夫	1962年	全期	人 形	風神・雷神	前田美代子	1972年	全期
陶芸	窯変香炉 懸紅・叢花袖	叶 光夫	1965年	全期	木工芸	樺拭漆渦線盛器	村山 明	1992年	全期

展示期間 前期：4月5日(土)～5月18日(日)

後期：5月20日(火)～7月6日(日)

すべて京都府立総合資料館蔵(京都文化博物館管理)

#### ◇京都の美術・工芸展 京都・洋画の現在～85人の視点～

概要：1970年以前生まれの85人の作家が一人一点を出品、あわせて、今日の京都洋画壇の礎として寄与した近年の物故作家14人の作品を展示。



「京都・洋画の現在～85人の視点～」会場風景  
(3階美術・工芸展示室)

期 間：2003年7月9日(水)～10月7日(火)

作 品：99点

シンポジウム：

8月9日(土)「描くということ」

芝田米三、渡辺恂三、赤松玉女、山部泰司  
〔出品作家〕、藤慶之〔美術ジャーナリスト〕  
(別館ホール)

ギャラリートーク：

第1回7月26日(土)

中原史雄、中野庸二、上岡真志〔出品作家〕  
(3階美術・工芸展示室)

第2回9月20日(土)

平岡靖弘、川村悦子、渡辺信明〔出品作家〕  
(3階美術・工芸展示室)

[通期] <7月9日(水)~10月7日(火)> …… 14人

分野	作品名	作家名	制作年	所蔵	分野	作品名	作家名	制作年	所蔵
洋画	私の地	麻田 浩	1980年代	ギャラリー 鉄斎堂蔵	洋画	作品'92.11.D (白昼の風景)	川内 伊久	1992年	個人蔵
洋画	夾竹桃	荒木 絢子	不詳	ギャラリー 宮脇蔵	洋画	握手	桑田 道夫	1997年	個人蔵
洋画	葵祭の牛車	井澤 元一	1977年	ギャラリー 宮脇蔵	洋画	無題	新見 孝	1994年	個人蔵
洋画	まいこ	猪田 七郎	不詳	個人蔵	洋画	牡丹	全 和風	1990年	星野画館蔵
洋画	点	大門 清次	1993年	個人蔵	洋画	「マヌカンの部屋」エスキース	中村 善種	1992年	*
洋画	誕	金田 辰弘	1960年	星野画館蔵	洋画	nastassja (ナスターシャ)	三尾 公三	1994年	個人蔵
					洋画	三宝柑と壺雲	安田 謙	1992年	個人蔵
					洋画	Canal Saint-Martin	吉村 勲	1991年	個人蔵

\*京都市立総合資料館蔵 (京都文化博物館管理)

[前期] <7月9日(水)~8月24日(日)> ……41人

分野	作品名	作家名	制作年	所蔵	分野	作品名	作家名	制作年	所蔵
洋画	母と子と女友達	赤松 玉女	2003年	個人蔵	洋画	BIJAS ECHO	田川 絵理	2002年	個人蔵
洋画	NEW MODEL	飯田 真人	2003年	個人蔵	洋画	Blind-ブラインドー	田中 栄子	2002年	個人蔵
洋画	群れる。	泉地 靖雄	2001年	個人蔵	洋画	画室	田中勇次郎	2003年	個人蔵
洋画	蘇る時	一居 孝明	2002年	個人蔵	洋画	現の夢	中井 英夫	2003年	個人蔵
洋画	グランド・キャニオン	大熊 峻	2000年	個人蔵	洋画	窓からの光 (oil 98-7.d-67)	中島 一平	1998年	個人蔵
洋画	世紀末一風シリーズ 作品V	大田 洋	1997年	個人蔵	洋画	IRO TOKIDOKIシリーズ			
洋画	層一境界 (II)	大森 啓	2003年	個人蔵	洋画	私風景 5つのbuoy	中野 庸二	2002年	個人蔵
洋画	木の話	奥井 章夫	2003年	個人蔵	洋画	或る風色の残像	中原 史雄	1996年	個人蔵
洋画	干潟にて	押江千衣子	2003年	個人蔵	洋画	ぶんまわし曼荼羅 02-09	橋本 武	2002年	個人蔵
洋画	UNTITLED	小原 素彦	2003年	個人蔵	洋画	絵画の庭-紅原	原田 要	2002年	個人蔵
洋画	あらゆるものと小さな ひとつのために 03-3	河崎ひろみ	2003年	個人蔵	洋画	月天を酌む	伴 清一郎	2001年	個人蔵
洋画	蓮葉譜	川村 悦子	2002年	個人蔵	洋画	響れる	深沢 暉治	1995年	個人蔵
洋画	Rain in August	木村 秀樹	2000年	個人蔵	洋画	壇の浦	藤井 豊久雄	2003年	個人蔵
洋画	2003年 6月	小林 一彦	2003年	個人蔵	洋画	残影	藤波 晃	2001年	個人蔵
洋画	縁起	齋藤 真成	2003年	個人蔵	洋画	Opera '03N-1	真野 岩夫	2003年	個人蔵
洋画	背にとどまる 3.6 (途中越えより)	佐川 晃司	2003年	個人蔵	洋画	Triangle 03-1	森田 孝夫	2003年	個人蔵
洋画	画室 卓上	芝田 耕	2003年	個人蔵	洋画	ある日のカフェ	森田 康雄	2002年	個人蔵
洋画	アトリエに楽聖が訪れる刻	芝田 米三	2001年	個人蔵	洋画	路上	森本 勇	1999年	個人蔵
洋画	LAND	鈴木 春生	2003年	個人蔵	洋画	青風	森本 岩雄	2003年	個人蔵
洋画	絵画-或いは戦いの日々	関根勢之助	2003年	個人蔵	洋画	旋律	山本 達郎	2002年	個人蔵
					洋画	ラハリナキヨノ	渡辺 恂三	2001年	個人蔵
					洋画	Rubber Ducky	割石ヒロミ	2002年	個人蔵

[後期] <8月26日(火)~10月7日(火)> ……44人

分野	作品名	作家名	制作年	所蔵	分野	作品名	作家名	制作年	所蔵
洋画	formation	相見 節子	2003年	個人蔵	洋画	Over there	笹尾 周平	2003年	個人蔵
洋画	木樽とパンのある静物	青木 敏郎	2003年	個人蔵	洋画	an egg 0308-1	清水 博文	2003年	個人蔵
洋画	Vanitas	生駒 泰充	2003年	個人蔵	洋画	今日が始まる	高安 醇	2003年	個人蔵
洋画	ささやき	井澤 幸三	2003年	個人蔵	洋画	feasts of booths	館 勝生	2001年	個人蔵
洋画	The sign of waters '02-6	石川 裕敏	2002年	個人蔵	洋画	ドライブ	谷本 天志	2003年	個人蔵
洋画	HORSE・HOUSE	伊庭新太郎	2002年	個人蔵	洋画	線と線-筆蹟12	津田 達雄	2003年	個人蔵
洋画	存在	入佐美南子	2003年	個人蔵	洋画	The Earth'03「木津川」	鶴田 憲次	2003年	個人蔵
洋画	ソレ	岩村 伸一	2003年	個人蔵	洋画	11:32 p.m.	長尾 浩幸	2003年	個人蔵
洋画	公園のフローラ	大竹 茂夫	2003年	個人蔵	洋画	めをつむってごらん	西岡 義一	2001年	個人蔵
洋画	花発不逢人	大森 翠	2003年	個人蔵	洋画	LAYERED WHITE 3-6	橋本 幸志	2003年	個人蔵
洋画	水辺20	岡田 修二	2003年	個人蔵	洋画	生まれる	番匠 美晴	2003年	個人蔵
洋画	「誰もあの鳥を見てはいけない」	岡田 武	2003年	個人蔵	洋画	大地・風の丘	平岡 靖弘	2003年	個人蔵
洋画	PROVIDENCE IN NATURE. SERIES. 228 "水溜"	奥田 輝芳	2003年	個人蔵	洋画	バルコニー	蛭田 均	2003年	個人蔵
洋画	2つの	上岡 真志	2003年	個人蔵	洋画	垂直の白	廣田 政生	2003年	個人蔵
洋画	ある朝の風景	北村 美佳	2003年	個人蔵	洋画	指標、そして、風 (03-04)	松山 和夫	2003年	個人蔵
洋画	ガンジス朝露・03-8	黒川 彰夫	2003年	個人蔵	洋画	蓮池	水口 裕務	2003年	個人蔵
洋画	黒いリズム	黒田 克正	2003年	個人蔵	洋画	ゆめ…	村岡 頭美	2003年	個人蔵
洋画	2003 花 京都	小枝 繁昭	2003年	個人蔵	洋画	vessel: water	森本 玄	2003年	個人蔵
洋画	柳は緑 花は紅	児玉 靖枝	2003年	個人蔵	洋画	grey #20	山河 全	2003年	個人蔵
洋画	LE PAYSAGE-2003-	小西 照	2003年	個人蔵	洋画	Fourth Gold Flower Cardinal	山部 泰司	2003年	個人蔵
洋画	剥落する91枚の紙片	斉藤 博	2003年	個人蔵	洋画	風の泉	吉田 淳一	2003年	個人蔵
洋画	チェス盤・動静	櫻井 辰正	2003年	個人蔵	洋画	同時一瞬きのうちに-	渡辺 信明	2003年	個人蔵

◇京都の美術・工芸展 日本画のできる時—写生・素描・下絵・本画／手描友禅の作品と工程見本

概要：作品制作のプロセスを日本画と手描友禅の  
二つの分野で紹介。

作品：日本画54点、手描友禅6点（他に工程見本、  
道具）

期間：2003年12月6日（土）～2004年2月1日（日）

分野	作品名	作家名	制作年	所蔵	分野	作品名	作家名	制作年	所蔵
日本画	妓女図	幸野樺嶺	明治6年	*1	日本画	雪遊び下絵	堂本印象	大正15年	*2
日本画	妓女図下絵	幸野樺嶺	明治6年	*1	日本画	交響小下絵	堂本印象	昭和36年	*2
日本画	四時花木群蟲図	今尾景年	明治18年	*1	日本画	交響小下絵	堂本印象	昭和36年	*2
日本画	寒月双鴨図	今尾景年	明治時代	*1	日本画	朝顔	土田麦僊	大正～昭和	*1
日本画	写生譜折帖	今尾景年	明治時代	*1	日本画	秋茄子	西村五雲	大正～昭和	*1
日本画	一路功名・鶏群鶴立図 (明治宮殿杉戸) 下絵	田能村直入	明治21年	*1	日本画	秋茄子	西村五雲	大正～昭和	*1
日本画	一路功名・鶏群鶴立図 (明治宮殿杉戸) 小下絵	田能村直入	明治21年	*1	日本画	干草と猫	西村五雲	大正～昭和	*1
日本画	汲古山泉	田能村直入	明治23年	個人蔵	日本画	文楽人形	西村五雲	大正～昭和	*1
日本画	汲古山泉稿本	田能村直入	明治時代	*1	日本画	三番叟人形	西村五雲	大正～昭和	*1
日本画	壬生狂言の楽屋	窠本一洋	大正4年	*1	日本画	玄治店芝居	西村五雲	大正～昭和	*1
日本画	壬生狂言の楽屋部分下絵	窠本一洋	大正4年	個人蔵	日本画	豹	西村五雲	大正～昭和	*1
日本画	秋	窠本一洋	昭和23年	個人蔵	日本画	豹	西村五雲	大正～昭和	*1
日本画	写生帖	窠本一洋	昭和時代	個人蔵	日本画	仔牛	西村五雲	大正～昭和	*1
日本画	小下絵帖	窠本一洋	大正～昭和	個人蔵	日本画	猿	榊原紫峰	大正～昭和	*1
日本画	神島風景	金島桂華	大正7年	*1	日本画	猿	榊原紫峰	大正～昭和	*1
日本画	大威徳明王	金島桂華	昭和17年	*1	日本画	獅子	榊原紫峰	大正～昭和	*1
日本画	大威徳明王下絵	金島桂華	昭和17年	*1	日本画	獅子	榊原紫峰	大正～昭和	*1
日本画	大威徳明王小下絵	金島桂華	昭和17年	*1	日本画	梅	榊原紫峰	大正～昭和	*1
日本画	大威徳明王部分写生	金島桂華	昭和17年	*1	日本画	梅	榊原紫峰	大正～昭和	*1
日本画	大威徳明王部分写生	金島桂華	昭和17年	*1	日本画	運池	榊原紫峰	大正～昭和	*1
日本画	木華開耶媛	堂本印象	昭和4年	*2	日本画	石露	榊原紫峰	大正～昭和	*1
日本画	木華開耶媛下絵	堂本印象	昭和4年	*2	日本画	きりぎりす	榊原紫峰	大正～昭和	*1
日本画	木華開耶媛小下絵	堂本印象	昭和4年	*2	日本画	蒲公英	榊原紫峰	大正～昭和	*1
日本画	木華開耶媛部分(山桜) 素描	堂本印象	昭和4年	*2	日本画	猫	榊原紫峰	大正～昭和	*1
日本画	木華開耶媛部分(山桜) 素描	堂本印象	昭和4年	*2	染織	雲取前裁草花文様振袖		江戸時代	*1
日本画	木華開耶媛部分(土筆) 素描	堂本印象	昭和4年	*2	染織	雛に菊文様下着		明治時代	*1
日本画	木華開耶媛部分 (女の足) 素描	堂本印象	昭和4年	*2	染織	千歳鶴	中川華邨	昭和34年	*1
日本画	木華開耶媛部分 (女の足) 素描	堂本印象	昭和4年	*2	染織	光と影	森口華弘	昭和36年	*1
日本画	時の秘鍵	堂本印象	昭和40年	*1	染織	流文	羽田登喜男	昭和46年	*1
日本画	時の秘鍵小下絵	堂本印象	昭和40年	*2	染織	洛北秋映	坂田彩湖	昭和63年	*1
					染織	下絵、糸目糊置、色挿し、伏せ糊、引染め、水元、金彩加工、刺繍			*1
					染織	青花、糸目糊置筒、伏せ糊筒、平刷毛、丸刷毛、金砂子罽筒など			*1

\*1：京都府立総合資料館蔵（京都文化博物館管理） \*2：京都府立堂本印象美術館蔵

◇京都の美術・工芸展 人形と子どもの衣裳

概要：京都府所蔵品の吉川観方コレクションを中心にして人形と衣装で近代から近世にかけての子どもの世界を紹介。

期間：2004年2月3日（火）～4月4日（日）

作品：人形63点、染織51点、書籍1点

分野	資料名	年代	備考	展示期間	分野	資料名	年代	備考	展示期間
染織	黒羽二重地松竹鶴亀文様産着	江戸末期	吉川観方コレクション	全期	人形	御所人形 宝箱持ち	江戸後期	堂本元次氏寄贈	全期
染織	白羽二重地松竹鶴亀文様産着	江戸末期	吉川観方コレクション	全期	人形	御所人形 立稚児	江戸後期	堂本元次氏寄贈	全期
染織	白平絹地松竹鶴亀文様産着	江戸末期	吉川観方コレクション	全期	人形	御所人形 這子（面屋庄次郎作）	昭和初期	面屋庄三氏寄贈	全期
染織	白練貫地かんとり草文様産着	江戸末期～明治初期	吉川観方コレクション	全期	人形	御所人形 立稚児（面屋庄次郎作）	昭和初期	面屋庄三氏寄贈	全期
染織	浅葱縮緬地馬散し文様振袖（男児用）	明治初期	吉川観方コレクション	前期	人形	御所人形 富士丸と桜子（岡本正太郎作）	昭和45年	森百合子氏寄贈	全期
染織	縹平絹地馬馬具文様振袖（男児用）	江戸末期	吉川観方コレクション	後期	人形	御所人形 這子（大木平蔵作）	大正時代	石井英心氏寄贈	全期
染織	鼠縮緬地霞取笹亀熨斗目文様振袖（男児用）	明治初期	吉川観方コレクション	全期	人形	御所人形 末広がり（岡本正太郎作）	昭和30年代	岡本喜世氏寄贈	全期
染織	黒木綿地十字斜め髷ぎ小紋肩衣袴（男児用）	江戸末期	吉川観方コレクション	全期	人形	御所人形 無（岡本正太郎作）	昭和40年代	岡本喜世氏寄贈	全期
染織	緋紋綸子地荒磯鶴文様振袖（女児用）	江戸後期	吉川観方コレクション	全期	人形	御所人形 空也（岡本正太郎作）	昭和40年代	岡本喜世氏寄贈	全期
染織	藍平絹地菊太紋干文様被衣（女児用）	江戸後期	吉川観方コレクション	全期	人形	御所人形 笛（岡本正太郎作）	昭和30年代	岡本喜世氏寄贈	全期
人形	天児	江戸後期	吉川観方コレクション	全期	人形	御所人形 立稚児（中田世津作）	昭和50年頃		全期
人形	這子	江戸中期	吉川観方コレクション	全期	人形	市松人形	明治時代	吉川観方コレクション	全期
人形	這子	江戸末期	吉川観方コレクション	全期	染織	よだれかけ	明治時代	吉川観方コレクション	全期
人形	犬篋	江戸末期	江馬務コレクション	全期	染織	よだれかけ	明治時代	吉川観方コレクション	全期
人形	御所人形 鯛釣り	江戸末期		全期	染織	でんち	明治時代	吉川観方コレクション	全期
人形	御所人形 犬	江戸後期	吉川観方コレクション	全期	染織	足袋	明治時代	吉川観方コレクション	全期
人形	御所人形 立稚児	江戸後期	堂本元次氏寄贈	全期	染織	腹掛け	明治時代	吉川観方コレクション	全期
人形	御所人形 びんぶく	江戸後期	吉川観方コレクション	全期	染織	帽子	明治時代	吉川観方コレクション	全期
人形	御所人形 花車曳き	江戸後期	吉川観方コレクション	全期	染織	ささげ	明治時代	吉川観方コレクション	全期
人形	御所人形 馬曳き	江戸末期		全期	染織	守袋	明治時代	吉川観方コレクション	全期
人形	御所人形 獅子頭持ち	江戸後期	堂本元次氏寄贈	全期	染織	背守り帳	明治時代	吉川観方コレクション	全期
人形	御所人形 おふく	江戸後期	吉川観方コレクション	全期	人形	立雛	江戸後期	吉川観方コレクション	全期
人形	御所人形 這子	江戸後期	堂本元次氏寄贈	全期	人形	立雛	江戸後期	吉川観方コレクション	全期

人形	立雛	江戸後期	堂本元次氏寄贈	全期	人形	縮緬細工 武者飾り	昭和初期	井上まさ子氏寄贈	全期
人形	立雛	江戸後期	岡田明枝氏寄贈	全期	人形	武者人形 (5体組)	江戸末期	松嶋裕児氏寄贈	全期
人形	立雛	江戸後期	岡田明枝氏寄贈	全期	染織	白麻地春駒文様帷子	明治～大正期	吉川観方コレクション	全期
人形	元禄雛	江戸中期	吉川観方コレクション	全期	染織	鼠麻地松皮菱取松鶴文様帷子	明治時代	吉川観方コレクション	後期
人形	元禄雛	江戸中期	吉川観方コレクション	全期	染織	鼠羽二重地松皮取に松羽衣文様振袖	明治初期	吉川観方コレクション	前期
人形	次郎左衛門雛	江戸中期	吉川観方コレクション	全期	人形	三折人形	寛政年間	吉川観方コレクション	全期
人形	有職雛 (小直衣)	江戸後期	吉川観方コレクション	全期	人形	三折人形	江戸末期～明治初期	吉川観方コレクション	全期
人形	有職雛 (直衣)	江戸後期	吉川観方コレクション	全期	人形	市松人形	江戸末期～明治初期	中村智子氏寄贈	全期
人形	享保雛	江戸後期		全期	人形	市松人形	明治時代	吉川観方コレクション	全期
人形	古今雛	江戸後期	吉川観方コレクション	全期	人形	市松人形	明治時代	吉川観方コレクション	全期
人形	古今雛	明治32年	長澤忠一郎氏寄贈	全期	人形	市松人形	明治時代	吉川観方コレクション	全期
人形	古今雛	安政年間	吉川観方コレクション	全期	人形	三折人形	明治時代	吉川観方コレクション	全期
書籍	絵本十寸鏡 (西川祐信)	延享5年	江馬務コレクション	全期	人形	三折人形	明治時代	吉川観方コレクション	全期
染織	鼠平絹地菜玉扇子文様振袖	江戸後期	吉川観方コレクション	前期	人形	抱き人形	明治時代	吉川観方コレクション	全期
染織	鼠平絹地掛盆裁文様振袖	江戸後期	吉川観方コレクション	後期	人形	市松人形	明治時代	堂本元次氏寄贈	全期
染織	縹縮緬地梅菊御簾貝橋文様振袖	江戸後期	吉川観方コレクション	前期	人形	抱き人形	明治時代	堂本元次氏寄贈	全期
染織	縹縮緬地公家遊山文様振袖	江戸末期～明治初期	吉川観方コレクション	後期	人形	市松人形	明治43年	種田蝶子氏寄贈	全期
人形	武者人形	江戸中期	吉川観方コレクション	全期	人形	人形の着せ替え着物	明治時代	吉川観方コレクション	全期
人形	飾兜	江戸末期～明治初期	吉川観方コレクション	全期	人形	抱き人形	明治時代	吉川観方コレクション	全期
人形	武者人形 大将と従者	江戸後期	水内杏平氏寄贈	全期	人形	抱き人形	明治時代	吉川観方コレクション	全期
人形	武者人形 秀吉と従者	文政6年	水内杏平氏寄贈	全期	染織	茶縮緬地葵丸文様振袖	明治時代	吉川観方コレクション	前期
人形	武者人形 神功皇后と武内宿禰	江戸後期	入江市郎氏寄贈	全期	染織	白縮子地霞取秋草文様振袖	明治時代	吉川観方コレクション	後期
人形	武者人形 大将と旗持ち	文政9年	宮下はる氏寄贈	全期	染織	鼠木綿地子ども犬雪だるま文様振袖	明治時代	吉川観方コレクション	全期
人形	武者人形 大将と旗持ち	文化3年	松尾賢一郎氏寄贈	全期	染織	鼠縮地松皮菱取竹縹文様単衣	明治時代	吉川観方コレクション	前期
人形	武者人形 大将	文政5年	松尾賢一郎氏寄贈	全期	染織	染分縮緬地鶴梅文様振袖	明治時代	吉川観方コレクション	後期
人形	金太郎と熊	江戸後期	吉川観方コレクション	全期	染織	薄藍平絹地紫陽花文様振袖	江戸末期	吉川観方コレクション	前期
人形	嶋谷家武者飾り	明治～大正期	嶋谷正夫氏寄贈	全期	染織	納戸紬地子ども牛文様振袖	明治時代	吉川観方コレクション	前期

染織	納戸縮緬地屏風雲鶴文様振袖	江戸末期	吉川観方コレクション	後期	染織	玉子色麻地四季草花文様帷子	江戸後期	吉川観方コレクション	前期
染織	藍縮緬地落葉文様振袖	江戸末期	吉川観方コレクション	後期	染織	白麻地石橋文様帷子	江戸末期	吉川観方コレクション	後期
染織	茶木綿地木目文様被布	明治時代	吉川観方コレクション	全期	染織	薄紅麻地雅楽幔幕文様帷子	江戸中期	吉川観方コレクション	後期
染織	緋平絹地重水干	復元	吉川観方コレクション	全期	染織	鼠麻地葵散し熨斗目文様帷子	江戸後期	吉川観方コレクション	後期
染織	黄花菱文様頭文紗裙	復元	吉川観方コレクション	全期	人形	竹田人形 武者	江戸末期	堂本元次氏寄贈	全期
染織	紫雲立涌菊藤浮織物細長	明治時代	吉川観方コレクション	全期	人形	竹田人形 瓢箪持ち	江戸末期	吉川観方コレクション	全期
染織	紫紹地陣羽織	江戸末期～明治初期	吉川観方コレクション	全期	人形	衣裳人形 化粧する女	江戸後期	吉川観方コレクション	全期
染織	縹緞子地雲龍丸文様陣羽織	江戸末期～明治初期	吉川観方コレクション	全期	人形	衣裳人形 母娘	明治時代	吉川観方コレクション	全期
染織	萌黄平絹地二引両文様肩衣袴	江戸末期	吉川観方コレクション	全期	人形	衣裳人形 傘持ち婦人	明治時代	堂本元次氏寄贈	全期
染織	黒木綿小葉繫小紋肩衣袴	江戸末期	吉川観方コレクション	全期	人形	衣裳人形 乳母と子ども	江戸末期～明治初期	吉川観方コレクション	全期
染織	茶木綿地幾何小紋肩衣袴	江戸末期	吉川観方コレクション	全期	人形	衣裳人形 町家の主人	江戸末期～明治初期	吉川観方コレクション	全期
染織	白絹縮地羽団扇桐文様単衣	江戸後期	吉川観方コレクション	前期	人形	衣裳人形 上方の新婦	江戸末期～明治初期	吉川観方コレクション	全期
染織	浅葱麻地花車牡丹文様帷子	江戸後期	吉川観方コレクション	前期					

展示期間 前期：2月3日(火)～3月7日(日)

後期：3月9日(火)～4月4日(日)

所蔵はすべて京都府立総合資料館蔵(京都文化博物館管理)

### (3) 別館展示

#### ① 東 室

◇第49回 2003年6月10日～9月7日 計55点(前期：6/10～7/21、後期：7/23～9/7)

テーマ	資料名・作品名(作者)	展示期間
山仕事の道具	木挽鋸/鉈/鋸/手木鎌/手木鉈/江州斧/斧/墨引/炭引/炭箕/負繩/背中当	全期
京の郷土玩具(その2)	伏見人形 鯛乗り戎/清水人形 石焼豆人形/八坂神社 長刀鉾/北野天満宮 牛車/三宅八幡の土鳩 ほか	全期
月岡雪鼎と雪斎	もちつき図(月岡雪鼎)/薬玉と官女図(月岡雪鼎)/茶葉袋と稚児図(月岡雪鼎)/官女図(月岡雪斎)/弦琴図(月岡雪斎)/高砂図(月岡雪斎)	前期
妖怪画・幽霊画	幽霊図(伝・円山応挙)/幽霊図(岸勝)/見返り幽霊図(鈴木松年)/産女図(照阿)/百鬼夜行絵巻模本(作者不詳)/妖怪十二月絵巻(郡関月)	後期

◇第50回 2003年9月9日～12月7日 計67点

テーマ	資料名・作品名(作者)	展示期間
養蚕の道具	蚕箔/中あじか/糞抜き籠/中でつき/蚕雌雄鑑別器/いぎ繰器/毛羽取器	全期
新収民具	洗濯板/アイスクリーム器/和久屋町旗/酒壺/掛時計/現像タンク/手提金庫/体温計/ハーモニカ/英文タイプライター	全期
京の郷土玩具(その3) 全国に名を馳す「伏見人形」	天神/福助/布袋/徳吸ちよろ/お福ちよろ/羽織力士/大将/おぼこ/子守り/饅頭喰い/鯛抱き童子/扇振り狐/懐牛 ほか	全期
京の郷土玩具(その3) 京洛の玩具、土鈴など	愛宕神社の魔除け面/愛宕の人形硯/宇治の茶の木人形/山崎の猪/石清水八幡宮の桶鳩/土鳩笛/紙鯉/土鈴のいろいろ	全期

◇第51回 2003年12月9日～2004年3月7日 計65点

テーマ	資料名・作品名（作者）	展示期間
紡織具	綿繰器／糸車／早繰／絡塚／箆／杼	全期
丹後の裂き織り	さきおり／さっこり／さっくり／さっくりぬの／さっくりおび／さっくりぐさ	全期
彩り豊かな「伏見人形」（総集編） 郷土玩具の中の伏見人形／土人形の「本家」	天神／布袋／恵比寿／大黒／福助／お多福／徳吸ちよろ／お福ちよろ／羽織力士／俵かつぎ力士／大将／おぼこ／子守り／丸髻女／三味線弾き／花魁／饅頭喰い／鯛抱き童子／犬乗り童子／友引人形／扇振り狐／猿牛／二匹じゃれ犬／親子猿／成田屋人形 ほか	全期

◇第52回 2004年3月9日～6月13日 計113点

テーマ	資料名・作品名（作者）	展示期間
春の農具	粉揚げ箆／上足／定規／田植え網／苗籠／筍掘り／筍籠	全期
中国東北地区の玩具	搬不倒／泥娃娃／布老虎	全期
装いを愉しむ 江戸時代女性の小袖と飾り	柴垣に鶯鶯雪持梅文様打掛／春草花文様振袖／桜閣山水文様小袖／櫛／髻／筥迫／財布／楊枝入／都風俗化粧伝／絵本十寸鏡／当世化粧容顔美艶考／化粧道具一式 ほか	全期 ※

※一部展示替えあり

②西 室

a. 世界の石器

- ・ 猿人の石器—5点
- ・ 原人の石器—5点
- ・ 旧人の石器—8点
- ・ 北ヨーロッパ新石器時代の石器—17点
- ・ 大分県宮地前遺跡出土の石器—24点

b. 青森県石亀遺跡の縄文土器

- ・ 土器—24点
- ・ 石製品—7点

c. 平安京跡出土瓦—93点

※詳細については『京都文化博物館10年のあゆみ』（1999年）を参照されたい。

## 3-2 特別展示

### (1) 自主企画展

#### ◇京都文化博物館開館15周年記念特別展

京の葵祭展 一王朝絵巻の歴史をひもとく一

会 期：2003年4月12日～5月18日（32日間）

休館日：月曜日（祝日の場合はその翌日）

会 場：4階特別展示室

入場料：一般1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：4月11日

主 催：京都府、京都文化博物館、京都新聞社、産経新聞社

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府観光連盟、京都市観光協会、平安建都1200年記念協会、歴史街道推進協議会、京都商工会議所、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

協 力：(財)賀茂県主同族会、賀茂御祖神社、賀茂別雷神社、葵祭行列保存会

担当者：土橋 誠・大塚活美

概 要：葵祭は、京の三大祭の一つとして知られ、正式には賀茂祭という。現在は5月15日に行われるが、本来は旧暦3月末から5月にかけての長い祭で、中心部分は旧暦4月の中吉日から戌日に実施されていた。この祭が朝廷の祭となり、嵯峨天皇の皇女が斎院として奉仕するようになると、宮中から勅使が派遣され、にぎやかな行列も行われた。その後、戦国時代や明治維新の混乱、太平洋戦争で一時中断することもあったが、1956年からは齋王代・女人列が加わるなど、今日我々が見る華やかさとなった。



2003年4月「京の葵祭展」会場風景  
(4階特別展示室)

展覧会の構成と主な作品：

#### 第1部 賀茂氏の祭

「続日本紀」「賀茂禰宜神主系図」「鴨御祖神社境内図」「賀茂別雷神社境内絵図」ほか

#### 第2部 朝廷の祭—賀茂祭の成立—

「車争い図屏風」「賀茂社嘉元年中行事」「御蔭祭行列絵巻」「関白賀茂詣絵巻」「御堂関白記」「年中行事絵巻」ほか

#### 第3部 賀茂祭の中断と復興

「賀茂祭絵詞」「上賀茂神社日次記」「神饌」「異形賀茂祭図巻」「公事録」「葵祭図屏風」「葵祭之図」ほか

#### 第4部 現代の葵祭

「葵祭齋王代像（第7代）」「三祭装束図」「競馬式図解」ほか

入場者：15,296人（1日平均478人）

講演会：別館ホール

・4月19日「歴史の中の葵祭」

岡田精司氏（元三重大学教授）

・5月3日「明治維新と葵祭」

高木博志氏（京都大学人文科学研究所助教授）

・5月10日「葵祭の風俗」

猪熊兼勝氏（葵祭行列保存会会長、

京都橘女子大学教授）

演奏会：別館ホール

・4月26日「東遊」

平安雅楽会

歴史ウォーク

・4月27日「齋王の道をたずねて」

#### ◇京都文化博物館開館15周年記念特別展

夢とロマンでつづる『KYOTO 映像フェスタ～フィルム・ルネッサンス～』

会 期：2003年10月18日（土）～11月30日（日）（38日間）

休館日：月曜日（祝日の場合はその翌日）

会 場：4階特別展示室、3階常設展示室、3階映像ホール、別館ホール

入場料：一般1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：10月17日

主 催：京都府、京都文化博物館、京都新聞社、NHK京都放送局

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、平



2003年10月「KYOTO 映像フェスタ〜フィルム・ルネッサンス〜」  
展会場風景（4階特別展示室）

安建都1200年記念協会、歴史街道推進委員会、KBS京都、エフエム京都、fm osaka、日本映画製作者連盟

協賛：コダック株式会社、大塚製薬株式会社

特別協力：東京国立近代美術館フィルムセンター、立命館大学アート・リサーチセンター、パナソニックSSマーケティング株式会社、株式会社IMAGICAウェスト、株式会社京都アニメーション、西日本電信電話株式会社京都支店、財団法人イメージ情報科学研究所、日本科学技術振興事業団

協力：京都イタリア文化会館、大阪芸術大学博物館、角川大映株式会社、東映株式会社、日活株式会社、東宝株式会社、松竹株式会社、株式会社ナック・イメージ・テクノロジー、株式会社高津商会、映像京都株式会社

担当者：森脇清隆、井上文夫

概要：京都文化博物館開館15周年を記念して、「映像」に関する初めての特別展として開催。日本映画発祥の地・京都の貴重な映画文化を守り、後世に伝えるため、産学公の幅広い協力を得て、日本映画の素晴らしさ、最新の映像文化の面白さを紹介し、新たな映像文化の可能性までを探る従来にない形式で構成する。体感展示ゾーンは、ゾートロープ等映像原理の体験から始まり、会場内の映画セットやミニチュアを使って特殊撮影を体験、あわせて映画の撮影、照明、美術、フィルムの原理について展示した。

また、進化する映像DNAコーナーでは、京都で活躍する映像関連企業・団体の協力のもと、NHKデジタル・スタジアムの再

現、実演アニメスタジオ、演技するロボット、禅体験できるコンピュータ等最新の映像世界を体験する展示を行った。また資料展示ゾーンでは、京都の映画史を所蔵する映像資料を中心に展示した。尾上松之助やマキノ映画等のコーナーでは立命館大学が参加、若い感性を活かした京都の映画史展示を目指した。

映画上映でも、広く府民からリクエストを募っての特集上映、イタリアの貴重な無声映画の上映とピアノ伴奏、京都国際学生映画祭や文化庁芸術祭日本映画名作鑑賞会など多彩な上映を行った。この他、映画文化の振興と保存に関するシンポジウム、映画音楽もジャズライブ、クラシックの名曲コンサートも開催した。

作品等：[映画セット・模型等] 大魔神模擬スタジオセット、特撮ステージ1/10模型、「土塀」美術造作過程セット等 [映画関係資料] 伊藤大輔直筆『忠治旅日記』シナリオ、山中貞雄直筆日記『従軍記』、『羅生門』で美術セットに使われた大型扁額、市川雷蔵『眠狂四郎』ポスター等 [ビデオ] 山中貞雄パラパラ漫画復元映像、森一生撮影『次郎長富士』撮影風景等 [映画上映] 『七人の侍』、『東京物語』、『二十四の瞳』、『斬人斬馬剣』、『忠治旅日記』、『人情紙風船』等

入場者：14,002人（1日平均368人）

映画上映：別館ホール／3階映像ホール

- ・10月19日『狂った一頁』上映とテルミン演奏  
(演奏：やの雪)
- ・10月22～26日「リクエスト作品上映」10位～6位
- ・10月28～30日「イタリア無声映画上映とピアノ伴奏」—『罪ある花』、『マロンブラ』等11作品  
(共催：京都イタリア文化会館)
- ・10月31～11月2日「時代を変えた男たち」—『忠次旅日記』、『用心棒』等4作品
- ・11月5～18日「文化庁芸術祭 日本映画名作鑑賞会」—『サード』、『トカレフ』等30作品  
(共催：文化庁)
- ・11月20～23日「京都国際学生映画祭2003」—受賞作品、招待作品、世界のアニメ等26作品  
(共催：大学コンソーシアム京都)
- ・11月24～30日「リクエスト作品上映」5位～1位

- 講演会：別館ホール  
 ・10月18日「映像の未来」  
 手塚 眞（ヴィジュアルリスト）
- トーク・サイン会：別館ホール  
 ・10月19日「女優・緒川たまき」
- ゲスト・トーク：別館ホール  
 ・11月8日「沢島忠監督」  
 ・11月15日「大森一樹監督」
- シンポジウム：別館ホール  
 ・11月16日「映画文化の振興と保存—地域アーカイブの試み」（共催：立命館大学アート・リサーチセンター）
- 音楽会：別館ホール  
 ・11月8日「映画音楽ジャズライブ」K106 MUSIC THEATER  
 ・11月15日「映画音楽とクラシックの名曲コンサート」Quad Erato

## (2) 共催展等

### ◇今日の人形芸術—想念の造形—

- 会 期：2003年5月30日～6月29日（27日間）  
 休館日：月曜日  
 入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円  
 特別鑑賞日：5月29日  
 主 催：京都文化博物館、産経新聞社、京都新聞社  
 後 援：京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、平安建都1200年記念協会、歴史街道推進協議会、産経スポーツ、夕刊フジ、サンケイリビング新聞社、NHK京都放送局、関西テレビ放送、KBS京都、ラジオ大阪、エフエム京都



2003年6月14日「今日の人形芸術」展  
 四谷シモン・今井陽子ミュージアム・トーク（別館ホール）

- 担当者：藤本恵子、洲鎌佐智子  
 概 要：工芸としての人形から現代アートともいべき人形芸術の真髄に迫った、近代から現代に至る人形の芸術的表現を国内外25作家の作品を出品した。  
 作 品：竹久夢二「椅子に座る男」（昭和初期）、平田郷陽「長閑」（1958）、林駒夫「花洛風流」（1997）、四谷シモン「機械仕掛けの少年2」（1984）、アクセル・ルーカス「無題」（2000）、結城美栄子「Tomorrow」（1988）、大島和代「2000年への旅」（1996-99）など約100点  
 入場者：20,283人（1日平均751人）  
 ミュージアムトーク：別館ホール  
 ・6月14日 四谷シモン（出品作家）、今井陽子（東京国立近代美術館研究員）

### ◇安倍晴明と陰陽道展

- 会 期：2003年7月12日～8月17日（32日間）  
 休館日：月曜日（祝日の場合はその翌日）  
 入場料：一般1,000円 大高生700円 中小生400円  
 特別鑑賞日：7月11日  
 主 催：京都文化博物館、読売新聞大阪本社、美術館連絡協議会  
 後 援：文化庁、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、平安建都1200年記念協会、歴史街道推進協議会、KBS京都、エフエム京都  
 協 賛：花王株式会社、京都コンピュータ学院  
 特別協力：晴明神社（京都）、安倍王子神社（大阪）、天社土御門神道本庁（福井）  
 協 力：ヤマトグローバルフレイト、富士通  
 担当者：大塚活美  
 概 要：安倍晴明や陰陽道に関する歴史的な史料と、安倍晴明を題材にした漫画・小説・映画に関する作品を展示し、安倍晴明とはどういう人物か、陰陽道とはどういうものか、安倍晴明はどのように語り継がれてきたかを展覧した。  
 作 品：御堂関白記、六道絵（以上、国宝）、中右記、泣不動縁起絵巻、大將軍神像、平安京大内裏図（以上、重文）、皆川家天文曆道関係資料（府指定）など117点  
 入場者：49,574人（1日平均1,549人）  
 講演会：別館ホール

・ 7月19日「陰陽道の遺産―天社土御門神道本庁  
について―」

藤田義仁氏（天社土御門神道本庁長）

・ 7月23日「試論・五芒星を探る」

夢枕 獺氏（作家）

講 談：

・ 7月26日「安倍晴明伝」

旭堂小南陵氏（講談師）

#### ◇遊べや遊べ！ 子ども浮世絵展

会 期：2003年 8月30日～10月 5日（32日間）

休館日：月曜日（祝日の時はその翌日）

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：8月29日

主 催：京都文化博物館、NHK京都放送局、NH  
Kきんきメディアプラン

後 援：京都府、京都市、京都府教育委員会、京都  
市教育委員会、京都商工会議所、京都府観  
光連盟、京都市観光協会、平安建都1200年  
記念協会、歴史街道推進協議会、KBS京  
都、エフエム京都

担当者：野口 剛、長舟洋司

概 要：くもん子ども研究所の所蔵品から、歌麿や  
広重、北斎などをはじめ、江戸から明治に  
かけての子どもの遊びを描いた浮世絵を精  
選し出品した。

作 品：鈴木春信「夏姿 母と子」、喜多川歌麿  
「当世好物八景 さわぎ好」、歌川広重「風  
流をさなあそび」、勝川春朗（北斎）「金太  
郎鷲掴みの図」など217点

入場者：9,911人（1日平均310人）

講演会

・ 9月13日「浮世絵にみる江戸の子どもたち」

中条正堯氏（国際浮世絵学会会員）

・ 9月15日「子ども絵の近世」

黒田日出男氏（東京大学史料編纂所教授）

・ 9月21日「紙芝居と絵本の読みきかせ」

牧井英津子氏（日本公文教育研究会）

#### ◇アンコール・ワット拓本展―神々と王の饗宴―

会 期：2003年12月9日～2004年1月12日（25日間）

休館日：月曜日、年末年始（12月28日～1月3日）

入場料：一般700円 大高生500円 中小生400円

特別鑑賞日：12月9日

主 催：京都文化博物館、朝日新聞社

後 援：在日カンボジア王国大使館、京都府、京

都市、京都府教育委員会、京都市教育委員  
会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京  
都市観光協会、平安建都1200年記念協会、  
歴史街道推進協議会、NHK京都放送局、  
KBS京都、エフエム京都、ユネスコ・ア  
ジア文化センター、日本ユネスコ協会連盟

協 力：アンコール・ワット拓本保存会、上智大学  
アンコール遺跡国際調査団

協 賛：京都精華大学

担 当：植山 茂

概 要：世界遺産に登録されている、東南アジア屈  
指の遺跡であるカンボジアのアンコール・  
ワットの壁面浮彫りを中心にしたアンコー  
ル遺跡群の石造彫刻を、カンボジア政府の  
特別許可を得てアンコール・ワット拓本保  
存会が採拓した拓本で紹介した展覧会。

作 品：アンコール・ワット、パイヨンの浮彫り彫  
刻などの拓本62点、アンコール・ワット木  
彫模型1点

入場者：9,101人（1日平均364人）

ギャラリートーク：4階会場内

12月14日、12月21日、1月6日

道浦摂陵氏（アンコール・ワット拓本保存  
会代表）

#### ◇京都府美術工芸新鋭選抜展～2004新しい波～

会 期：2004年1月24日～2月 8日（14日間）

休館日：月曜日

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主 催：京都府、京都文化博物館

後 援：京都新聞社、朝日新聞京都支局、毎日新聞  
京都支局、読売新聞大阪本社、産経新聞社、  
日本経済新聞社、NHK京都放送局、KBS  
S京都、エフエム京都、京都商工会議所、  
平安建都1200年記念協会

担当者：洲鎌佐智子、野口 剛

概 要：京都で活躍している新進作家の作品を広く  
紹介し、その育成を図るとともに、京都の  
美術工芸の振興を図る展覧会。

作 品：最優秀賞：大西伸明「INFINITY GRAY」  
（ミクスト・メディア）

優秀賞：山崎暢子「crochet」（彫刻）、寺田就子  
「中空中―いつもの中」（ミクスト・メディ  
ア）、宮永愛子「ムコウガワ」（ミクスト・  
メディア）など40作家、71点

入場者：5,077人（1日平均363人）

◇鉄腕アトムの軌跡展 空想科学からロボット文化へ  
1900-200X

会 期：2004年2月21日～3月28日（32日間）

休館日：月曜日

入場料：一般1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：2月20日

主 催：京都文化博物館、朝日新聞社

後 援：京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、平安建都1200年記念協会、歴史街道推進協議会、NHK京都放送局、関西テレビ放送、KBS京都、エフエム京都

担当者：森脇清隆、井上文夫

概 要：ロボットの創生からアトム誕生、そして新世代のロボットまでを、映画メトロポリス

に登場するロボット「マリア」や「鉄腕アトム」等のオブジェをはじめ、手塚治虫の原画等の展示、テレビで放映中の「鉄腕アトム」のビデオ上映などにより紹介し、幼児から中高年層まで広く楽しめるよう企画された展覧会。

作 品：手塚治虫自筆原稿『アトム大使』原稿、同・構想ノート、『鉄腕アトム』原稿、『火の鳥』原稿等、映画『メトロポリス』関連資料—松竹座チラシ、ロボット・マリアのオブジェ（岩野勝人製作）等、科学雑誌—『科学画報』、『少年の科学』等、手塚治虫監修EXPO70出品ロボット等

入場者：11,540人（1日平均361人）

講演会：3階映像ホール

・2004年3月6日「ロボットの未来」

中津良平（関西学院大学教授）

2003年度特別展の開催状況一覧

展 覧 会 名	会 期	日 数	入場者数	一日平均	形 態
京の葵祭—王朝絵巻の歴史をひもとく	2003. 4.12～2003. 5.18	32	15,296	478	自主展
今日の人形芸術—想念の造形	2003. 5.30～2003. 6.29	27	20,283	751	共催展
安倍晴明と陰陽道展	2003. 7.12～2003. 8.17	32	49,574	1,549	共催展
遊べや遊べ！子ども浮世絵展	2003. 8.30～2003.10. 5	32	9,911	310	共催展
KYOTO 映像フェスタ～フィルム・ルネッサンス～	2003.10.18～2003.11.30	38	14,002	368	自主展
アンコール・ワット拓本展—神々と王の饗宴—	2003.12. 9～2004. 1.12	25	9,101	364	共催展
京都府美術工芸新鋭選抜展～2004新しい波～	2004. 1.24～2004. 2. 8	14	5,077	363	共催展
鉄腕アトムの軌跡展—空想科学からロボット文化へ	2004. 2.21～2004. 3.28	32	11,540	361	共催展
計 8 件		232	134,784	581	

(3) 館外共催事業

◇京都府立総合資料館収蔵展示室 公開

会 場：京都府立総合資料館収蔵展示室

会 期：2003年6月3日～5日（3日間）

入場者数：130人

◇京都府立総合資料館収蔵展示室 公開

会 場：京都府立総合資料館収蔵展示室

会 期：2003年11月19日～21日（3日間）

入場者数：135人

◇開館40周年記念「総合資料館名品展」への協力

会 場：京都府立総合資料館展示室

会 期：2003年11月8日～12月7日（27日間）

出品作品：秋野不矩「平安神宮」ほか18点

(4) 京都府民ギャラリー事業への協力

京都府では、府民が身近に「文化・芸術の町」を体験できる空間を創出するために、府民ギャラリー事業を実施している。本事業は、京都府が所蔵する美術工芸品のうち、「京の四季」や「京の絵本原画」等から

テーマを定めて構成した作品群を、府内の文化施設で展示するもので、当館は(1)展示会場となる文化施設の事前調査、(2)展示作品の選定、(3)会場での展示指導、などにおいて協力している。

主 催 者	期 間	開催場所	展示内容
京都府	2003. 4.24～ 6.30	京都府庁	「京の四季」から7点
京都府	2003. 7. 1～10.29	京都府庁	「京の四季」から7点
八幡市立松花堂美術館	2003. 8. 1～ 8.31	八幡市立松花堂美術館	五代・六代清水六兵衛コレクションから40点
京都府	2003.10.30～12.26	京都府庁	「京の四季」から7点
京都府	2003.12.25～2004. 3.31	京都府庁	「京の四季」から7点

### 3-3 映画

#### (1) 常設上映

上映期間	テーマ	作品名	日	回数	鑑賞者数
2003. 4. 3～ 4.27	映画監督・豊田四郎の世界	若い人／泣露小僧／雁 猫と庄造と二人のをんな ／駅前旅館／暗夜行路／漣東綺譚／甘い汗	18	36	2,232
2003. 5. 1～ 5.25	MUSASHI < 武蔵 > IN THE MOVIES	宮本武蔵 第1・2部／宮本武蔵 第3部／宮本武蔵 一乗寺決斗／宮本武蔵 (1961)／宮本武蔵 般若坂の決斗／宮本武蔵 二刀流開眼／宮本武蔵 一乗寺の決斗／宮本武蔵 巖流島の決斗	16	32	2,454
2003. 5. 5	京都国際映画祭2002受賞作品		1	2	51
2003. 5.29～ 6.29	女流文学の中の女たち	めし／稲妻／妻／にごりえ／晩菊／たけくらべ／おとうと／華岡青洲の妻／三婆／鬼龍院花子の生涯	20	40	3,423
2003. 7.10～ 7.12	祇園祭記念特別上映	祇園祭	2	4	303
2003. 7.11～ 7.13	第3回世界水フォーラム記念作品上映	明日をつくった男	2	4	193
2003. 7. 3～ 8. 3	ここから始まる！ 名匠たちの処女作	春秋一刀流／銀嶺の果て／愛妻物語／あすなろ物語／くちづけ／愛と希望の街／おとし穴／帝銀事件死刑囚	16	32	2,087
2003. 8. 7～ 8.10	上方ルネッサンス2003【楽劇の祭典】協賛企画 近松門左衛門生誕350年“近松”によせて	近松物語／女殺し油地獄	4	8	476
2003. 8.14～ 8.31	名作映画リクエスト特集 30位～23位	覆染かつら／大殺陣雄呂血／私は貝になりたい／ 臉の母 (S37年)／蜘蛛巣城／用心棒／仁義なき戦い／キューポラのある街	12	24	1,979
2003. 9. 4～ 9.28	名作映画リクエスト特集 21位～15位	青い山脈／続青い山脈／喜びも悲しみも幾歳月／ 麦秋／雪国／晩春／白い巨塔／眠狂四郎殺法帖／ 赤ひげ	16	28	2,867
2003.10. 2～10.12	名作映画リクエスト特集 13位～11位	炎上／飢餓海峡／破戒／浮雲	8	14	1,289
2003.10.18	手塚真作品上映	実験映画	1	1	108
2003.10.19	狂った一頁 (テルミン伴奏)	狂った一頁	1	1	94
2003.10.22～10.26	名作映画リクエスト特集 10位～6位	弁天小僧／ぼんち／薄桜記／羅生門／雨月物語	5	10	984
2003.10.28～10.30	イタリア無声映画とピアノ伴奏	罪ある花／悪魔の狂想曲／マロンブラ／スカンボロ／天涯の孤児 第1部 天涯の孤児 第2部／ ナポリを見て死ね／恋する女／ママー人形／オズ ヴァルド・マーズの家／私生児	11	11	600
2003.10.31～11. 2	時代劇を変えた男たち	忠次旅日記／斬人斬馬剣 人情紙風船／用心棒	3	6	533
2003.11. 5～11.19	文化庁芸術祭	丹下左膳余話 百万両の壺／波影／越前竹人形／ 東海道四谷怪談／悪名／若き日の信長東海道つむ じ風／狙撃／股旅三人やくざ／なみだ川／サード ／明治侠客伝 三代目襲名／不良番長 俺たちの荒 野／少年／虹をわたって／獅子王たちの夏／螢川 ／トカレフ 岸和田少年愚連隊 Boys be ambi- tious／夜を賭けて／ブーテン／ツキ／ロックンロー ルミシン／火星のカノン／恋する女たち／Quad. Erato 映画音楽とクラシックのコンサート／映画 シンポジウム／おぎゃあ／ピーピー兄弟／Unloved ／青い春／ごめん／とらばいゆ	32	32	2,343
2003.11.21～11.23	京都国際学生映画祭		3	9	388
2003.11.24～11.30	名作映画リクエスト特集 5位～1位	生きる／無法松の一生／東京物語 七人の侍 二 十四の躰	6	10	1,781

2003.12. 4~12.21	新選組の光と影 京都幕末青春群像	鞍馬天狗 角兵衛獅子 花ちりぬ 新選組始末記 幕末残酷物語 燃えよ剣 竜馬暗殺	12	23	1,385
2003.12.14	日本映画テレビ技術協会試写会	たそがれ清兵衛	1	1	162
2004. 1. 8~ 2. 1	悪の華一咲くも無惨、散るも無惨	御詠治郎吉格子 弁天小僧 不知火検校 大菩薩峠 大菩薩峠電神の巻 大菩薩峠完結編 天国と地獄 仁義なき戦い	16	32	1,597
2004. 2. 5~ 2.29	再生される映画 リメイク作品特集	隣の母 (S6年) 隣の母 (S37年) 兄いもうと あにいもうと 王将ノ王将一代 破戒 (S23年) 破戒 (S37年)	16	32	1,510
2004. 3. 4~ 3.28	京都府フィルムライブラリー新収蔵品特集	東海水滸伝ノ二等兵物語 ひばり捕物帖かざし小判 女狐風呂 女と海賊 新吾十番勝負 関の弥太っへ はなれ醫女おりん	16	31	1,804
計			238	423	30,643

## (2) 特別上映・共催事業

### ◇京都国際学生映画祭2002受賞作品上映会

期 間：2003年5月5日

共 催：大学コンソーシアム京都

会 場：別館ホール

### ◇日本映像学会関西支部 夏期ゼミナール

「溝口健二再考—その画と音の世界—」

期 間：2003年8月2日～4日

共 催：日本映像学会関西支部、京都府

会 場：京都府立ゼミナールハウス

### ◇上方ルネッサンス2003 楽劇の祭典

「近松門左衛門生誕350年“近松”によせて」

期 間：2003年8月7日～10日

共 催：関西楽劇フェスティバル協議会

### ◇イタリア無声映画の上映とピアノ伴奏

期 間：2003年10月28日～30日

共 催：京都イタリア文化会館

会 場：別館ホール

### ◇文化庁芸術祭—日本映画名作鑑賞会

期 間：2003年11月5日～19日

共 催：文化庁

会 場：別館ホール

## ◇シンポジウム

「映画文化の振興と保存—地域アーカイブの試み」

期 間：2003年11月16日

パネリスト：入江良郎（東京国立近代美術館フィルムセンター研究員）、川村健一郎（川崎市市民ミュージアム学芸員）、富田美香（立命館大学助教授）、矢野進（世田谷文学館主任学芸員）、森脇清隆（当館学芸員）

共 催：立命館大学アトリサーチセンター

会 場：別館ホール

### ◇京都国際学生映画祭2003

期 間：2003年11月21日～23日

共 催：大学コンソーシアム京都

会 場：別館ホール

### ◇日本映画テレビ技術協会特別試写会

『たそがれ清兵衛』

(2002年松竹作品ノ監督：山田洋次)

期 間：2003年12月14日

共 催：日本映画テレビ技術協会

※敬称略。映画タイトルは『 』で表記。特に会場の記載されていない催しは当館3F映像ホールで開催した。

## (3) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、明治から昭和初期の映画カメラ・映写機、伊藤大輔文庫、大映京都撮影所関連資料を展示している。また所蔵の映画作品から73作品をダイジェストして収録し、検索システムとして公開している。詳細については、『京都文化博物

館10年のあゆみ』（1999年）を参照されたい。なお、映像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・スチル・チラシ等50点前後の資料を随時展示替えしながら公開している。2003年度は表に示したテーマで展示した。

期 間	テ ー マ	内 容
2003. 1.21～ 4. 6	森一生の仕事	森一生監督の資料、ポスター等を展示
2003. 4. 8～10.13	MUSASHI〈武蔵〉IN THE MOVIES	宮本武蔵を題材にした映画をスチール、ポスター等で紹介展示
2003.10.15～2004. 4. 4	新選組の光と影 京都幕末青春群像	新選組を題材にした映画をスチール、ポスター等で紹介展示

(4) 京都府映像文化センター運営委員

氏 名	所 属 等	氏 名	所 属 等	備 考
坂上 順	東映京都撮影所長	羽生 清	京都造形芸術大学教授	
実方 司郎	京都興行協会常任理事	森田富士郎	映画撮影監督	
多田道太郎	京都大学名誉教授	下田 元美	京都府文化芸術室長	2003年4月～
中島 貞夫	映画監督	荒巻 禎一	内部委員	2003年6月～
中村 努	シナリオライター	安井 恒夫	内部委員	2003年6月～

## 4. 調査研究活動

### 4-1 学芸員の活動

#### (1) 博物館研究費による研究

洲鎌佐智子・発掘成果にみる江戸時代の京焼について

野口 剛 ・旧御所障壁画の調査・研究

鈴木忠司 ・岩宿時代の食体系再考―磯群による調理実験を中心として

南 博史 ・フィールドミュージアムにおける博物館活動について―遺跡博物館の可能性を考える(4)―

土橋 誠 ・収蔵資料のデータベース化について

大塚活美 ・京都および周辺地域の祭礼についての歴史的研究

大塚活美・洲鎌佐智子・野口 剛

・館所蔵「誓願寺門前図」の総合的研究

鈴木忠司 ・京都府立大学(通年)

「博物館実習講義」

・古代学協会

『古代文化』刊行委員会編集参与

植山 茂 ・京都造形芸術大学(前期)

「博物館学(Ⅱ)」

南 博史 ・京都外国語大学(通年)「博物館学」

・京都外国語大学(通年)

「博物館実習Ⅰ」

・古代学協会

『古代文化』刊行委員会編集参与

大塚活美 ・滋賀県教育委員会

自然神信仰調査調査員

#### (2) 外部研究費・共同研究等による研究

藤本恵子 ・鹿島美術財団助成金「風俗研究家・吉川観方のコレクションの意義特質―近世小袖の今日的価値の礎―」

野口 剛 ・平成15年度科学研究費補助金 基盤研究(B)(1)「江戸時代における『書画情報』の総合的研究―『古画備考』を中心に―」研究協力者

南 博史 ・『エルサルパドル・チャルチュアパ遺跡考古学プロジェクト』(代表:伊藤伸幸 名古屋大学助手、新大陸文化研究所代表)研究協力者

大塚活美 ・文部省科学研究費基盤研究A「第二定型 洛中洛外図屏風の総合的研究」(代表:黒田日出男 東京大学教授)研究協力者

#### (3) 出講・委嘱

山本俊介 ・京都府美術工芸新鋭選抜展 審査員

・福知山市佐藤太清賞公募美術展 審査員

・創工会展 審査員

藤本恵子 ・第33回日本伝統工芸展近畿展 染織・人形部門鑑査委員

森脇清隆 ・大谷大学短期大学部(後期)

「京都学・映像論」

洲鎌佐智子 ・京都造形芸術大学(通期) 「博物館学」

野口 剛 ・花園大学(通期) 「美術史研究」

片岡 肇 ・木下美術館委嘱 理事

#### (4) 学芸員の業績

##### a. 論文・著作

井上文夫 ・図録『KYOTO 映像フェスタ』企画・編集(京都文化博物館、2003年10月)

藤本恵子 ・「翻刻:風俗研究家・吉川観方の日記(昭和11年1月~3月分)」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第16集所収、2004年3月)

森脇清隆 ・図録『KYOTO 映像フェスタ』企画・編集(前掲)

・「映画・日本上陸」、「日本のハリウッド・京都」、「世界の京都映画」、「戦後黄金期・大映京都」、「戦後黄金期・松竹京都」、「戦後黄金期・東映京都」、「展示資料解説」、「上映作品解説」(図録『KYOTO 映像フェスタ』所収)

・「鉄腕アトムの軌跡(上・中・下)」(『朝日新聞』連載、2004年2月)

洲鎌佐智子 ・「京都美術協会の活動にみる京都の陶磁器」(『近代陶磁』第4号所収、近代国際陶磁研究会、2003年5月)

・『すぐわかる作家別やきもののかた(分担)』(東京美術、2004年2月)

片岡 肇 ・「京都文化博物館2002年度年報」編集(2004年3月)

鈴木忠司 ・「続・岩宿時代人はドングリを食べたか」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第16

- 集所収、前掲)
- ・「石蒸し調理実験記録 (4)ーヴァヌアツ式礫加熱法と礫破損率をめぐってー」(竹内直文・礫群調理実験グループと共同執筆/京都文化博物館研究紀要『朱雀』第16集所収、前掲)
- 植山 茂
- ・『修徳寺大雄殿ー1937年保存修理工事の記録ー』共同編集 (〔韓国〕徳崇叢林修徳寺発行、2003年5月)
  - ・「世界遺産 アンコール・ワット拓本展ー神々と王の饗宴ー(上・中・下)」(『朝日新聞』連載、2003年12月)
  - ・「明代の技術導入の可能性ー城郭瓦を中心にー」(第三回研究集会資料『軟質施釉陶器の成立と展開』所収、関西陶磁史研究会、2004年1月)
- 南 博史
- ・共著『改訂博物館学概論』(鈴木真理編『博物館学シリーズ』1、樹村房、2004年3月)
- 土橋 誠
- ・「京の葵祭展ー王朝絵巻の歴史をひもとくーの概要」(『文化財レポート』No10所収、京都文化財団文化財保護基金室、2003年3月)
  - ・図録『京の葵祭展』共同執筆(京都文化博物館、2003年4月)
  - ・「春日祭」(『平安時代儀式年中行事事典』所収、東京堂出版、2003年9月)
  - ・「翻刻『競馬秘記』(上)」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第16集所収、前掲)
- 大塚活美
- ・図録『安倍晴明と陰陽道展』共同編集(読売新聞大阪本社、2003年7月)
  - ・「作品解説(分担)」(図録『安倍晴明と陰陽道展』所収)
  - ・「小城の祇園社と祇園会」(『肥前千葉氏と小京都小城ー歴史資産を活かしたまちづくりー講演録』所収、小城町・小城町教育委員会、2003年9月)
  - ・「御代参街道と商人」(『近江歴史回廊 近江商人の道』所収、淡海文化を育てる会、2004年1月)
  - ・「安倍晴明と陰陽道について」(『文化財レポート』No12所収、京都文化財団文化財保護基金室、2004年1月)
  - ・「祭礼における「つくりもの」飾りー京

都と近府県の祭り紹介ー」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第16集所収、前掲)

#### b. 発表・講演

- 洲鎌佐智子
- ・「京都美術協会の活動にみる京都の陶磁器」(近代国際陶磁器研究会、2003年6月1日)
  - ・「江戸時代の京焼」(兵庫県立陶芸館(仮称)、ボランティア養成講座、2003年9月20日)
  - ・「婚礼の衣装と調度」(京都市産業技術研究所繊維技術センター染織デザインセミナー、2004年1月29日)
- 片岡 肇
- ・「第4回内国勲業博覧会」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2004年3月13日)
- 鈴木忠司
- ・「埋納銭」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2003年4月12日)
  - ・「石が語る人類の歴史ー2万年前のくらしはどこまで解明されたかー」(立命館大学考古学研究会、立命館大学、2003年11月15日)
  - ・「世界の石器」(別館歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2004年2月21日)
- 植山 茂
- ・「羅城門模型」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2003年10月25日)
  - ・「明代の技術導入の可能性ー城郭瓦を中心にー」(関西陶磁史研究会第三回研究集会、大手前大学、2004年1月11日)
  - ・「京都の六齋念仏について」(文化財保護基金室第76回文化財研修講座、京都文化博物館、2004年1月25日)



2003年10月25日 学芸員による展示解説「羅城門」  
(植山茂主任学芸員/2階歴史展示室)

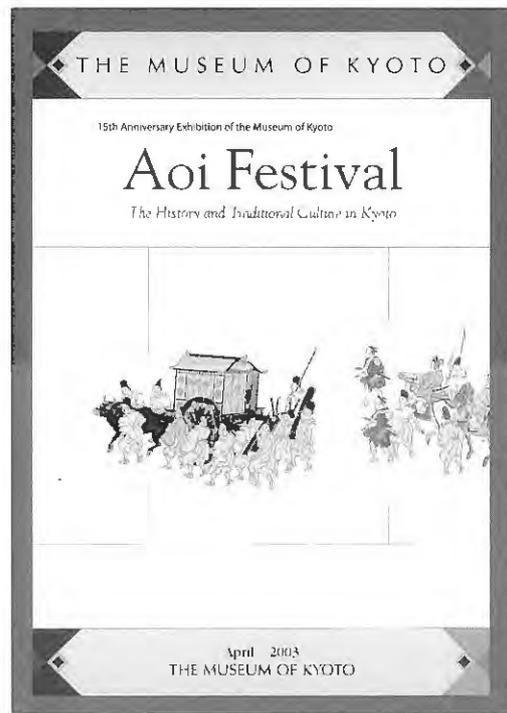
- 南 博史
- ・「市立梅屋小学校跡地発掘調査」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2003年6月14日)
  - ・「匠の世界・たたみ」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2003年7月19日／文友会・中村勇三氏と)
  - ・特別講義「博物館の現状と課題」(京都嵯峨芸術大学、2003年9月8日)
  - ・「長刀鉾町遺跡」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2004年1月10日)
  - ・「古代マヤ文明の遺跡と博物館」(仏教大学四条センター、2004年2月14日)
  - ・「博物館と地域とボランティア」(兵庫県立歴史博物館、2004年3月13日)
- 土橋 誠
- ・「京の葵祭展」(友の会文化講座、2003年4月15日)
  - ・「歴史ウォーク・斎王の道をたずねて」

(2003年4月27日)

- ・「年中行事絵巻」(歴史常設展展示解説、2003年5月17日)
  - ・「冷泉家の七夕一乞巧羹一」(歴史常設展展示解説、2003年8月9日)
  - ・「大島本源氏物語」(歴史常設展展示解説、2003年11月29日)
- 大塚活美
- ・「金屋の鋳物師」(金念寺、2003年6月21日)
  - ・「『安倍晴明と陰陽道展』を終えて」(京都紫竹ロータリークラブ例会、京都プライトンホテル、2003年8月29日)
  - ・「町の匠想定復元模型」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2003年9月6日)
  - ・「二条城」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2003年12月13日)



(表)



(裏)

図録『京の葵祭展  
—王朝絵巻の歴史をひもとく—』

## 5. 普及活動

### 5-1 出版物

#### (1) 京都文化博物館研究紀要『朱雀』

##### ◇『朱雀』第16集

発行：京都文化博物館

発行日：2004年3月31日

印刷：(株)三星商事印刷

体裁：B5判、103ページ

編集担当：鈴木忠司

所載記事：

##### 【論攷】

鈴木忠司 続・岩宿時代人はドングリを食べたか

##### 【研究ノート】

鈴木忠司・竹内直文・礫群調理実験グループ

石蒸し調理実験記録(4)ーヴァヌアツ

式礫加熱法と礫破損率をめぐるー

大塚活美 祭礼における「つくりもの」飾り

ー京都と近府県の祭りの紹介ー

##### 【資料紹介】

土橋 誠 翻刻：『競馬秘記』

藤本恵子 翻刻：風俗研究家・吉川観方の日記  
(昭和11年1月～3月分)

##### 【京都文化財団出版物在庫一覧】

#### (2) 京都文化博物館年報

##### ◇2002年度年報

編集・発行：京都文化博物館

発行日：2004年3月31日

印刷：(株)燈影社

体裁：A4判、41ページ

編集担当：片岡 肇・大塚活美

#### (3) 展覧会図録

##### ◇『京都文化博物館開館15周年記念特別展

京の葵祭展ー王朝絵巻の歴史をひもとくー』

編集：京都文化博物館学芸第二課

発行：京都文化博物館

発行日：2003年4月12日

制作・印刷：ニューカラー写真印刷(株)

体裁：A4判、168ページ

編集担当：土橋 誠・大塚活美

##### ◇『京都文化博物館開館15周年記念特別展

夢とロマンでつづる KYOTO 映像フェスタ

ーフィルム・ルネッサンスー』

編集：京都文化博物館学芸第一課

発行：京都文化博物館

発行日：2003年10月18日

制作・印刷：ニューカラー写真印刷(株)

体裁：B5判変形、87ページ

編集担当：森脇清隆・井上文夫

##### ◇『京都府美術工芸新鋭選抜展～2004新しい波～』

編集・発行：京都府・京都府京都文化博物館

発行日：2004年1月24日

制作・印刷：ニューカラー写真印刷(株)

体裁：25cm×25cm、53ページ



「京の葵祭」展



「KYOTO 映像フェスタ」展

(4) その他

◇『京都の歴史と文化—歴史展示案内』(第3版)

印刷：日本写真印刷

編集：京都文化博物館学芸第二課

発行：京都文化博物館

※各書の奥付に発行日のないものは、その展示会の開始日を挙げた。

発行日：2004年3月31日

5-2 講演会・音楽会

(1) 講演会など

開催年月日	講師	所属等	演題・テーマ	備考
2003. 4.12	鈴木 忠司	当館主任学芸員	埴納銭	歴史常設展展示解説
4.19	岡田 精司	元三重大学教授	歴史の中の葵祭	「京の葵祭展」講演会
4.26	平安雅楽会		東游	「京の葵祭展」演奏会
5. 3	高木 博志	京都大学人文科学研究所助教授	明治維新と葵祭	「京の葵祭展」講演会
5.10	猪熊 兼勝	葵祭行列保存会会長・ 京都橘女子大学教授	葵祭の風俗	「京の葵祭展」講演会
5.17	土橋 誠	当館学芸員	年中行事絵巻	歴史常設展展示解説
6.14	四谷シモン・ 今井陽子	人形作家 東京国立近代美術館研究員		「今日の人形芸術」展ミュージアムトーク
◇	南 博史	当館主任学芸員	旧梅屋小学校跡地発掘調査	歴史常設展展示解説
7.19	南 博史・ 中村勇三	当館主任学芸員 置三 中村三次郎商店店主	「匠の世界」たたみ	歴史常設展展示解説
◇	藤田 義人	天社土御門神道本庁長	陰陽道の遺産—天社土御門神道本庁について—	「安倍晴明と陰陽道展」講演会
7.23	夢枕 獏	作家	試論・五芒星を探る	「安倍晴明と陰陽道展」講演会
7.26	旭堂小南陵	講談師	安倍晴明伝	「安倍晴明と陰陽道展」講談
◇	中原史雄ほか	(出品者3名)		「京都・洋画の現在展」ギャラリートーク
8. 9	土橋 誠	当館学芸員	冷泉家のセター乞巧奠一	歴史常設展展示解説
◇	芝田米三ほか	(出品者4名、美術ジャーナ リスト1名)	描くということ	「京都・洋画の現在展」シンポジウム
9. 6	大塚 活美	当館学芸員	町の匠想定復元模型	歴史常設展展示解説
9.13	中城 正堯	国際浮世絵学会会員	浮世絵に見る江戸の子どもたち	「子ども浮世絵展」講演会
9.15	黒田日出男	東京大学史料編纂所教授	子ども絵の近世	「子ども浮世絵展」講演会
9.20	平岡靖弘ほか	(出品者3名)		「京都・洋画の現在展」ギャラリートーク
9.21	牧井英津子	日本公文教育研究会	紙芝居と絵本の読み聞かせ	「子ども浮世絵展」講演会
10.18	手塚 真	ヴィジュアルリスト	映像の未来	「KYOTO映像フェスタ展」講演会
10.25	植山 茂	当館主任学芸員	羅城門模型	歴史常設展展示解説
11.16	入江良郎ほか	東京国立近代美術館研究員	映像文化の振興と保存	「KYOTO映像フェスタ展」シンポジウム
11.29	土橋 誠	当館学芸員	大島本源氏物語	歴史常設展展示解説
12.13	大塚 活美	当館学芸員	二条城	歴史常設展展示解説
12.14	道浦 摂陵	アンコールワット拓本保存会代表		「アンコールワット拓本展」ギャラリートーク
12.21	道浦 摂陵	アンコールワット拓本保存会代表		「アンコールワット拓本展」ギャラリートーク
2004. 1. 6	道浦 摂陵	アンコールワット拓本保存会代表		「アンコールワット拓本展」ギャラリートーク
1.10	南 博史	当館主任学芸員	長刀鉾町遺跡	歴史常設展展示解説
2.21	鈴木 忠司	当館主任学芸員	世界の石器	歴史常設展展示解説
3. 6	中津 良平	関西学院大学教授	ロボットの未来	「鉄腕アトムの軌跡展」講演会
3.13	片岡 肇	当館学芸第二課長	第4回内国勧業博覧会	歴史常設展展示解説

(2) 音楽会

a. 京都文化博物館音楽会シリーズ

「歴史と共に〈音楽〉を楽しむ」

協賛：吉忠株式会社

協力：アマデウス音楽事務所

主催：京都文化博物館

企画・解説：岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教

後援：京都文化博物館友の会

授・京都文化財団理事）

◇歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・XII 天才たちの若き日とその晩年

第四夜	恵みの中の天才 メンデルスゾーン	2003年 4月17日	141名
お 話	岩淵龍太郎 (京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事)		
演 奏	岩淵龍太郎 (ヴァイオリン) / 九頭見香穂里 (ピアノ)		
曲 目	ヴァイオリンとピアノのためのソナタ (ハ短調)、無言歌集第6巻op. 67より ヴァイオリンとピアノのためのソナタ (ハ長調)		
第五夜	重厚にして絢爛たる天才 ブラームス	2003年 6月10日	126名
お 話	岩淵龍太郎 (京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事)		
演 奏	三木康子 (ピアノ)		
曲 目	ピアノソナタ第2番、ラプソディ第1番、「6つの小品」より第2番 (イ長調) パガニーニの主題による変奏曲 (イ短調)		
第六夜	音楽の効果、心、知性のすべてを包含した天才 ラヴェル	2003年 8月28日	141名
お 話	岩淵龍太郎 (京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事)		
演 奏	三井ツヤ子 (メゾソプラノ) / 阿部裕之 (ピアノ)		
曲 目	序奏とアレグロ、ラ・ヴァルス、2つのヘブライの歌、歌曲集「シェヘラザード」より5つのギリシア民謡		

◇歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・XIII 音楽と舞踏

第一夜	ルネッサンスからバロックへ	2003年10月 2日	131名
お 話	岩淵龍太郎 (京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事)、中野振一郎 (日本テレマン協会)		
演 奏	中野振一郎 (チェンバロ)		
曲 目	モーリー：パウアーヌとガリアルダ (イ調)、バード：グラウンド (二調)、フレスコヴァルディ：トッカータ (ハ調)		
第二夜	バロックを中心にして	2003年12月17日	218名
お 話	岩淵龍太郎 (京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事)		
演 奏	河合隼雄 (フルート) / 中野振一郎 (チェンバロ)		
曲 目	ブルーレ「貞淑な妻」、ヘンデル「クラヴサン組曲 (ホ短調)」、ロンド「アウデラザール」より		
第三夜	ハイドン以後のウィーン楽派	2004年 2月 6日	152名
お 話	岩淵龍太郎 (京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事)		
演 奏	田辺良子 (ヴァイオリン) / 越知晴子 (ピアノ)		
曲 目	モーツァルト：メヌエット (二長調)、ベートーベン：メヌエット (ト長調) ヨハン・シュトラウス「ウィーンの森の物語」他		

b. 第14回祇園祭の宵山に箏曲を聴く夕べ

日 時：2003年 7月15日、16日

主 催：京都文化博物館、生田流宮城会麗調会社中

後 援：京都文化博物館友の会・京都文化博物館ろ  
うじ店舗博和会

会 場：京都文化博物館別館ホール

演奏者：生田流宮城会麗調会社中(代表者 浅野愛子)

演 目：千代の寿、遠砧、千鳥の曲、嵯峨の秋、篝  
火、喜悦の波と花と、都踊ほか

入場者：1,005人

※祇園祭協賛事業として開催し、別館を午後6時から8時  
30分まで無料公開した。

5-3 博物館実習

①第1組

実施期間：2003年 7月29日～8月1日

実習生：京都府立大学5人、京都造形芸術大学3人、  
京都精華大学2人、滋賀県立大学1人、成  
安造形短期大学1人

②第2組

実施期間：2003年 9月2日～5日

実習生：立命館大学5人、京都外国語大学5人、龍  
谷大学2人、京都文教大学1人

③実習内容・担当者：

・博物館の概要・館内見学―山本・鈴木



2003年 7月30日 博物館実習風景  
(長舟洋司学芸員/別館講義室)

- |           |        |           |         |
|-----------|--------|-----------|---------|
| ・美術資料について | 一野口    | ・文書資料について | 一土橋     |
| ・展示照明について | 一長舟    | ・考古資料について | 一南・植山   |
| ・工芸資料について | 一藤本・洲鎌 | ・映像資料について | 一森脇     |
| ・民俗資料について | 一大塚    | ・まとめと反省   | 一全担当学芸員 |

## 5-4 その他の活動

### (1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像など多分野にわたり、現在単行本約61,100冊、逐次刊行物約3,000タイトル（68,000冊）を収蔵している。中でも埋蔵文化財の発掘調査報告書が約24,100冊、展覧会図録が約9,100冊と多く、また、映画のシナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。これらの図書資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者に対して公開している。なお、本年度の書籍の受け入れ数は、4,800件であった。

### (2) 文化情報コーナー

1階の文化情報コーナーでは、京都府内を中心とする美術館・博物館などの文化施設から送られてくるチラシやリーフレットなどを置いて、来館者が自由に持ち帰ることができるようにするとともに、京都の伝統行事、歴史、庭園、寺社の御利益、散歩道、コーヒーショップ、京の花などの検索できる「京のオススメ」と、近畿の歴史文化についてのDVDによる動画情報の「歴史街道—ロマンへの扉」を設置して、来館者に情報を提供している。

### (3) 生涯学習ボランティア

当館の生涯学習ボランティア「MOKの会」は、京都府長寿社会政策室が生涯学習の振興を図るため、京都府の文化施設にボランティアを導入するよう呼びかけ、これに応じて結成されたもので、平成6年4月15日に英語ボランティア・グループとして活動を開始した。

以後、外国人の入館者を対象に、2階常設展示（歴史展示室）において英語によるガイドとしてサービスを行っている。

また、「MOKの会」の行事として総会・例会・研修会などを通じ、会員の研鑽に努め独自の活動を実施している。

#### ◇2003年度の役員（会員数35名）

会長：桜井 和代  
副会長：北橋美喜子

副会長：松井 隆子（敬称略）

#### ◇2003年度の活動

- 2003年4月12日 2003年度総会  
5月24・31日 新会員対象オリエンテーション  
6月14日 6月例会  
9月13日 9月例会  
9月20・21日 SKYふれあいフェスティバル2003参加  
11月8日 11月例会  
11月12日 第6回学習ひろば参加（於：京都府立堂本印象美術館）  
2004年1月10日 1月例会  
3月13日 3月例会 2004年度役員選出  
会長：室 英子  
副会長：千葉 英子  
副会長：伊吹真由美（敬称略）

その他、2003年10月7日、29日、11月8日、29日、2004年1月10日、28日、2月21日、28日に「文化庁ボランティア推進モデル事業」研修講座を実施した。

### (4) 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術・工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的とする。



2003年11月8日 造園家重森千青氏講話と庭園見学  
(生涯学習ボランティア11月例会)

### ①会員の特典

- ・ 会員証で常設展（映画鑑賞を含む）、特別展の無料での観覧
- ・ 会員同伴者5人以内を限度として1人20%の割引
- ・ 友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・ 毎月、博物館の催事情報や各種行事案内の送付
- ・ 博物館発行出版物の割引

### ②会費

- ・ 個人会員 年会費 6,000円
- ・ グループ会員（2名以上）  
年会費 5,000円（1人）

### ③2003年度の状況

会員総数：762名（個人542名、グループ220名）

#### ◇見学会

- ・ 第1回 2003年10月24日  
見学先：西本願寺書院、同御影堂修理現場  
説明者：菅澤 茂（京都府文化財保護課職員）  
山本洋一（西本願寺職員）  
参加者：52名



2003年12月9日「友の会」見学会  
（西本願寺飛雲閣）

#### ◇文化講座

- ・ 第1回 2003年4月15日（京の葵祭展）  
場 所：別館講義室  
参加者：28名  
講 師：土橋 誠（学芸第二課学芸員）
- ・ 第2回 2003年8月6日（安倍晴明と陰陽道展）  
場 所：別館講義室  
参加者：34名  
講 師：木場明志（大谷大学教授）

#### ◇日本の童謡コンサート（「MOKの会」との共催）

- ・ 2003年10月7日  
場 所：別館ホール  
出 演：リサ・ガーシュテン

参加者：友の会会員32名及び当館ボランティア25名

### (5) 地域との連携

#### ①「まちなかを歩く日」への参加と協力

地域住民・団体が中心となってすすめている「歩いて喜らせる街づくり推進会議」（2000年7月設立）が、活動趣旨の啓発と普及をはかるために地域全体で開催する「まちなかを歩く日」のイベント（11月15・16日）に、昨年に引き続き当館も参加した。第4回目となる今回は、「秋、まっさかり 出会いと感動、京のルネッサンス」を活動のテーマとし、京のまちなか9学区（城巽、龍池、本能、明倫、初音、柳池、日彰、生祥、立誠）において、さまざまな活動が行われた。

当館が協力・参加した活動は以下のとおりである。

- a. 「イベントめぐりスタンプラリー」に対する協力  
・ 携帯電話web版「駒札めぐり」での協力  
・ 発着点業務など
- b. 別館前総合案内所設置（15日・16日）
- c. ぶんぱく・おこしやすフリーマーケット（15日・16日）  
・ 高倉通に沿って館員が中心となったフリーマーケットを展開した。

#### ②「きものの似合うまち・京都」づくり推進事業への協力

今年も昨年に引き続き、10月1日から12月15日までの2ヶ月半、同事業への協力を行った。期間中には、和服姿の来館者が目に見えて増加し、同事業の定着と着実な効果を感じられる。それにつれて館内も何かしらしっかりと華やいだ空気につつまれ、古都の博物館の雰囲気作りにも好影響を与えているという印象がある。

京都府・京都市・京都商工会議所が主催する同事業は、古都になつかしく、着物姿の人々が行き交う風情ある町づくりを目指しつつ、西陣織や京友禅などの伝統産業の育成にも寄与しようという趣旨で、2001年度からはじめられたものである。当初は着物での訪問者に対する入場料の割引制度として発足したものであったが、2003年度からは、「着物パスポート」持参の和服着用者は無料、同伴者は20%割引と、サービス内容が充実したせいであろうか、上記のように着実な効果が現れてきているように見受けられる。

#### ③文化庁主催「関西文化の日」への連携

11月15・16日の両日、同事業へ参加して、常設展示

場の無料開放を行った。こうした機会を通じて、少しでも多くの方々に博物館に親しんでもらいたいと願っ

ているところである。

## 6. 国際交流

### 6-1 陝西歴史博物館友好交流事業

1991年6月に中国陝西省西安市に開館した陝西歴史博物館と当館とは、1994年の「大唐長安展」開催を契機に、同年12月に友好提携の調印を行い、①学術研究の成果の交流、②文物の保護技術の交流、③人材の育成・交流、を通じて両館の友好関係を確立し、推進することとした。その結果、人的な交流については、1年おきにそれぞれの職員2名を2週間派遣することになり、1995年に当館の職員を陝西省に派遣することから両館の交流の第一歩を踏み出した。

この友好交流事業は、京都府からの補助事業という形で進められてきたが、長引く経済不況の下で、京都府も財政再建に取り組むこととなり、当事業も見直し

を余儀なくされた。その結果、当館職員の陝西省への派遣はすでに1999年度から中止してきたが、加えて陝西歴史博物館職員の招聘も2002年度から当面の間見合わせることにした。

なお、2004年度が友好提携10周年にあたるため、記念の中国陝西省展を企画したが（学芸第二課自主企画展）、中国国内の伝染病（サース）のため延期することになった。その後、TBS、博報堂より『史記展』の共同企画の申し入れがあった。友好提携記念の展覧会に準じるものとしてこれを受け、中国陝西省調査に参加した南主任学芸員が、館長の親書を持って友好交流事業再開ともなる当展覧会への協力をお願いした。

### 6-2 その他の交流事業

国際協力事業団・大阪国際センターでは、主として開発途上国を対象に、伝統文化の保護と継承、観光事業の振興などを側面支援することを目的として、「博物館技術（収集・保存・展示）コース」等を設けて、

研修を実施している。当館では、2001年度から「博物館技術コース」の「展示技術」および「ヨルダン・シリア博物館導入コース」（2004年）に関する研修を受け入れてきた。

#### 国際協力事業団2001～2003年度文化財修復設備技術コース等研修

研修年月日	研修内容		研修員	
	研修名	担当者	人数	国名
2001年11月2日	重要文化財・旧日本銀行京都支店の保存と活用について	鈴木忠司	9	中国、ロシア、ラオス、タイ、サウディ・アラビア、ペナン、マダガスカル、ザンビア、ソロモン
2002年11月7日	重要文化財建造物の博物館としての利用について	鈴木忠司	9	ブルガリア、エリトリア、インドネシア、ヨルダン、モンゴル、ネパール、タイ、サウディ・アラビア
2004年2月19日	歴史的建造物の活用について	鈴木忠司	7	ヨルダン、シリア

## 7. ギャラリー事業

### 7-1 5・6階展示室

#### (1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室及び京都市立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名（染織・陶芸・漆芸各1名）、書2名（仮名・

漢字各1名）、写真1名の計13名で、展示室の使用を希望する美術・工芸作家などの作品について審議している。

2003年度の委員会は以下のとおり開催した。

委員会開催日	審議対象期間	件数
2003年 6月24日	2003年12月～2004年 3月	15
11月 5日	2004年 4月～2004年 7月	16
2004年 2月24日	2004年 8月～2004年11月	14

#### (2) 美術・工芸作家の利用

京都市工芸美術陳列所（京都市ギャラリー）の機能を引き継いで、当館では開館以来、5階展示室に美術・工芸作家が利用できる場を設けている。利用期間を原則として毎月21日から月末の前日までと定め、府内に活動の本拠を持つ作家及び府内にゆかりのある作家に限定している。展示作品は、絵画・彫刻・工芸・書・

デザイン・写真・華道などのジャンルで、内容の充実しているものとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。

2003年度の利用件数は、41件であった。

#### ①作家利用一覧

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
2003 4.23～27	北沢一念作品展	諸工芸	10.23～26	面匡会京都能楽展	諸工芸
4.23～27	日本画光玄展	日本画	10.29～11. 2	山本三千代書作展	書
4.23～27	新日美京都巡回展	美術総合	10.29～11. 2	円山慶祥・弟子真祥展	日本画
5.21～25	京都書作家協会会員展	書	10.29～11. 2	萌葱会染色作品展	染 織
5.28～ 6. 1	絵更紗美術協会会員展	染 織	10.29～11. 2	面法会能・狂言面展	諸工芸
6.25～29	筍々会展	日本画	11.20～24	京の名工展	工芸総合
6.25～29	種々展	日本画	11.26～30	創工会展	工芸総合
6.25～29	安田虚心・丹女記念雙展	日本画	12.17～21	帆の会展	洋 画
6.25～29	山川章三「繙染の世界」展	染 織	12.17～21	京都現代写真作家展	写 真
7.17～21	2003京都日本画家協会選抜展	日本画	2004. 1.21～25	田村勲展	洋 画
7.23～27	石井小百合ろうけつ染個展きものと創作絵本	染 織	1.22～26	京都現代書芸展	書
7.23～27	出口育子作品展 月と水	染 織	1.28～ 2. 1	藤井勲 塙 マシラ素描展	日本画
8.20～24	ファインド・アイ文人光画展	写 真	1.28～ 2. 1	芽生展	日本画
8.27～31	平安書道会聚英展	書	1.28～ 2. 1	汎具家会友と受賞作家展	洋 画
8.27～31	書の会「躍」展	書	2.20～22	京都橋女子大学日本語日本文学科書道コース・大学院文学研究科言語文化専攻卒業制作展	書
8.27～31	京都エネソコ協会美術工芸展	総 合	2.27～29	水明選抜書展	書
9.24～28	岩崎狂雲展 狂言・能面	諸工芸	3.24～28	あまがつ会人形展	諸工芸
9.24～28	大塚亮治作品展	諸工芸	3.24～28	板倉華游書展	書
9.24～28	光風工芸「明日へのかたち」展	工芸総合	3.24～28	面風密能面・狂言面	諸工芸
10.22～26	六藝会篆刻作品展	書	3.24～28	蒼龍展	書
10.22～26	白土会洋画作品展	洋 画			
計41件 (91日間)					39,986人

②作家利用分野別入場者状況

	美術						工芸				美術 工芸 総合	総計
	日本画	洋画	書	写真	彫刻	美術総合	染織	陶芸	諸工芸	工芸総合		
使用件数	8	4	10	2	0	1	5	0	7	3	1	41
割合 (%)	20%	10%	24%	5%	0%	2%	12%	0%	17%	7%	2%	100%
入場者数	9,062	2,356	8,466	3,091	0	813	2,393	0	6,249	6,985	571	39,986
1件平均入場者数	1,133	589	847	1,546	0	813	479	0	893	2,328	571	975

(3) 生涯学習の発表期間の利用

1998年より、5階・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用に準ずる生涯学習的発表の利用一覧

利用期間として、美術・工芸作家及び技能芸能継承者の指導するグループの発表期間をもうけたものである。

	会期	展覧会名	分野	入場者数
5階	2003. 4. 3～ 4. 6	川奈部尚石遺墨展 併催 門下生展	書	694
	4. 3～ 4. 6	第12回 押花アート展	諸工芸	1,255
	4. 3～ 4. 6	NHK京都文化センター陶芸教室作品展	陶芸	867
	4.16～ 4.20	ガラスと染色二人展	染織/染色	554
		西澤伸一・芳美「古布寄製遊び」・「一貫張」作品展	諸工芸	391
	4.30～ 5. 4	関西創玄書道会 創立三十周年記念展	書	764
	5. 7～ 5.11	中沢玲子と仲間達の合同パッチワークキルト展	諸工芸	1,455
	6.11～ 6.15	フベドール 創作陶磁器人形展	諸工芸	2,229
	6.11～ 6.15	第9回アメリカン・ニードルクラフト パッチワークキルト展	諸工芸	1,833
	6.12～ 6.15	第7回佳趣会書展	書	682
	6.16～ 6.22	国宝弘法大師空海 書の曼陀羅世界展	諸工芸	712
	7. 9～ 7.13	～絹に描く日本画～ 竹彩会屏風絵展	日本画	575
	7. 9～ 7.13	染・四君子の会	染織/染色	542
	7.28～ 8. 3	第21回上野の森美術館大賞展関西展	洋画	1,558
	9. 4～ 9. 7	京都とっておきの芸術祭	(美術) 総合	1,240
	9.11～ 9.15	第20回産経国際書展関西展	書	1,126
	10. 9～10.13	第12回光勲能面會展	諸工芸	1,240
	10. 9～10.13	布花とシャドーボックス展—光とのコラボレーション	諸工芸	1,513
	10. 9～10.13	和紙ちぎり絵ひまわり 第17回京都展	諸工芸	1,107
	10.14～10.19	京都府陝西省交流芸術展	(美術) 総合	1,165
10.22～10.26	ブルース・リー逝去三十周年祈念企画展	諸工芸	1,836	
2004.	1. 8～ 1.12	大藪沙羅書芸教室新春書芸展	書	1,628
	2. 2～ 2. 8	第8回京都伝統工芸専門学校卒業記念作品展	(工芸) 総合	2,423
	3. 4～ 3. 7	第17回全国シルバー書道展京都展	書	1,343
	3.10～ 3.14	第21回 桃夭会日本画展	日本画	982
	3.10～ 3.14	10周年記念 水浪会展	洋画	861
	3.10～ 3.14	チャーチル会京都 春の小品展	洋画	972
	3.10～ 3.14	彩素会絵更紗展	染織	847
	計28件 使用日数：140日			
6階	2003. 4.19	平成15年染織光悦會展	染織/染色	400
	4.20	あねさん亭文博寄席 [落語会]	その他	100
	4.30～ 5. 4	関西創玄書道会 創立三十周年記念展 (第二会場)	書	
	6. 7～ 6. 8	第4回 霞会書作展	書	300
	6.21～ 6.22	国宝弘法大師空海 書の曼陀羅世界展 講演会	その他	90
	7. 2	あねさん亭文博寄席 [落語会]	その他	105
	7.31～ 8. 3	(財)片山家能楽保存財団 第六回 能装束・能面展	(工芸) 総合	1,479
	9.18～ 9.21	関孝 能面展	諸工芸	290
	9.25	京都文化博物館開館15周年記念 ろうじまつり [講演会]	その他	200
	9.26～ 9.28	第33回表芸展	その他	455

10. 7~10. 9	第31回京都シニア大学学園文化祭	その他	509
10.10~10.13	三十五周年記念あしべ会展 併催 香津会五周年記念展	書	493
10.17~10.19	杉本宏一作品展	染織/染色	106
10.30~11. 6	第三回「紬と織の公募展」	染織/染色	1,021
11. 7~11. 9	叡山学院墨跡展	書	292
11. 7~11. 9	第六回竹心展	書	275
11.13~11.16	第41回龍門社選抜書道展	書	987
11.23	あねさん亭文博寄席 [落語会]	その他	118
11.28~11.30	創立二十五周年記念 爽遠社書展	書	689
2004. 2. 1	体験学習 [京舞]	その他	70
2004. 1.28	体験学習 [京舞]	その他	153
3.21	あねさん亭文博寄席 [落語会]	その他	250
計22件		使用日数：60日	8,382人

## ②生涯学習的発表の利用分野別入場者状況

	和装 呉服	美術							工芸					美術 工芸 総合	総計	
		日本画	洋画	書	写真	その他	美術 総合	小計	染織	陶芸・金 竹・漆	諸工芸	工芸 総合	小計			
5階	件数	-	2	3	6	-	-	3	14	3	1	10	-	14	-	28
	日数	-	10	17	27	-	-	17	71	14	4	51	-	69	-	140
	人数	-	1,557	3,391	6,237	-	-	4,828	16,013	1,943	867	13,535	-	16,345	-	32,358
6階	件数	-	-	-	7	-	9	1	17	3	-	1	1	5	-	22
	日数	-	-	-	25	-	12	3	40	12	-	4	4	20	-	60
	人数	-	-	-	3,036	-	1,541	509	5,086	1,527	-	290	1,479	3,296	-	8,382

※ 6階「その他」は講演会、落語会、体験学習等。

### (4) 一般の利用

5階展示室及び6階展示室は美術・工芸作品の展示会などの他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市などの会場としても利用されている。

		和装 呉服	染織	美術	工芸	その他	計
5階	件数	7	0	5	1	3	16
	日数	21	0	17	4	9	51
6階	件数	13	0	0	1	0	14
	日数	39	0	0	3	0	42

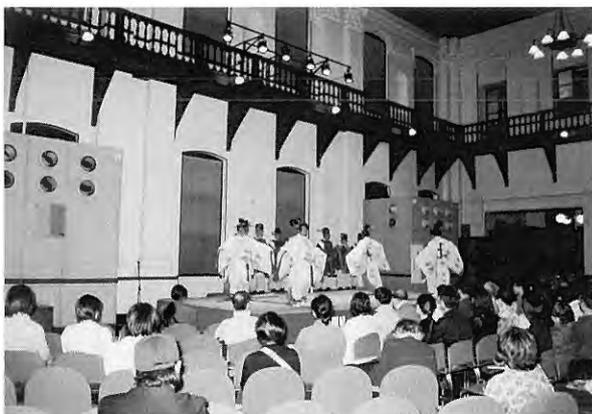
\*美術：日本画、洋画、書、写真など

\*工芸：陶芸、金工、竹工、漆芸、諸工芸など

### 7-2 別館ホール

旧日本銀行京都支店（重要文化財）の営業室であった別館のホールは、通常は常設展示の一環として公開しており、明治時代の代表的な洋風近代建築の内部が鑑賞できるが、一方で多目的ホールとしての機能ももっ

ている。特別展の開会式やレセプション、音楽会など館主催の事業に使うとともに、貸会場として展示会や音楽会などの利用にも提供している。



2003年4月26日 「東游」演奏会  
(別館ホール)



2003年4月27日 「モンテベルディ合唱団」リハーサル風景  
(別館ホール)

利用状況

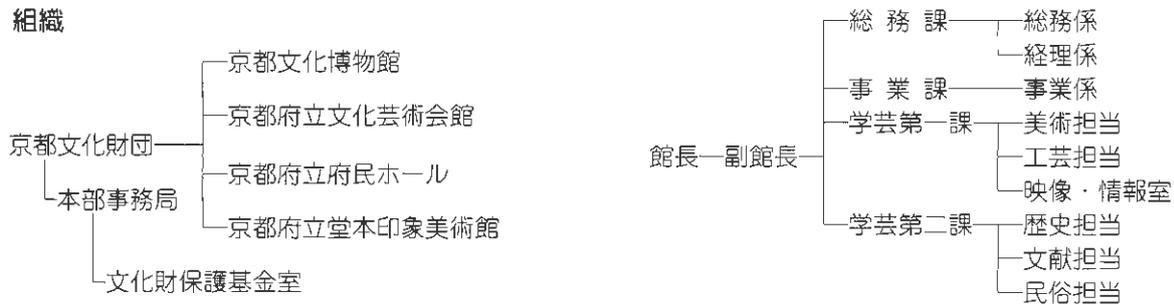
会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
2003. 4.13	オカリナアンサンブルファイブビーンズ スプリングコンサート	10.11	Cantus Noster & Ensemble Read 合同コンサート'03
4.20	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会	10.12	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会
4.27	京都C.モンテヴェルディ合唱団定期演奏会	10.13	バッハアカデミー関西 定期演奏会
5.10	NPO法人京都ヴェルディ協会講演会	12. 6	男性合唱団 Des Eleison 合唱コンサート
5.18	混声合唱団紫野第1回演奏会	12. 7	京都室内合唱団クリスマスコンサート
5.25	たけだけいご歌のコンサート	12.10	ドラマ&アリアコンサート マクベス・オセロー
6. 1	京都フランス歌曲協会クレールコンサート	12.11	邦楽綴ー日本の音・日本の声ー
6.15	鴻田侑子ピアノ教室第2回アンサンブルの夕べ	12.13	オカリナアンサンブルファイブビーンズ X'masコンサート
6.28~29	KYOTO建築士2003	12.14	京都フランス歌曲協会クレールコンサート
7. 6	佛教大学混声合唱団 SUMMER CONCERT	12.16	杉田二郎コンサート from my heart 3
7.13	京都の鯉を語る女性の会 心に響くやさしい調べ 1部・2部	12.19~21	アトリエエンジェル ステンドグラスランプ作品展
8. 3	フェリックス室内合奏団定期演奏会	12.23	合唱団「ぶどうの樹」くりすますこんさーと
8.23	Fixed Star ジョイントコンサート	12.26	ソプラノ・バリトンデュオコンサート
8.24	アマデウスマイコンサート	12.27	JMコンサート
8.31	北摂バロックコア合唱コンサート	2004. 1.10	αステーション収録 VIKI LIVE
9. 6	とっておきの芸術祭表彰式	2. 8	Bsmuse・ラジオカフェ収録
9. 7	京都府 とっておきの芸術祭表彰式	2.14	同志社学生混声合唱団CCDファエウェルコンサート
9.20	桃山ムーンコール合唱コンサート	2.28~29	フローリストショップブーゼ フラワーアレンジメントクラス作品展
9.23	ジョイントコンサート	3. 6	合唱団 Rond・ハルモニア第12回演奏会
9.25	ろうじ店舗博和会開館15周年記念パーティー	3. 7	佛教大学混声合唱団ファエウェルコンサート
9.27	合唱団ラ・コール定期演奏会	3.10~14	飛騨国際工芸学園進級・卒業家具展 show&shop 2004
9.28	ピアノ・ヴァイオリン・チェロによるクラシックコンサート	3.17	源河知子ソプラノリサイタル
10. 4	DUO MAG デュオマークパーカッションリサイタル	3.19~21	石井麻子とその仲間たち メゾン・ド・アンジェ ニット展
10. 5	Das Heberaecken 第1回演奏会	3.23	デジタルアーカイヴ映画deしゃべり場in京都
		3.27	日本と台湾音楽家交流コンサート

入場者数 計 14,803人

## 8. 管理・運営

### 8-1 組織と職員

#### (1) 組織



※ 総務課は京都文化財団本部総務課を兼ねる。

#### (2) 京都文化財団役員

2004年3月31日現在

職名	氏名	所属等	註	職名	氏名	所属等	註
顧問	林田悠紀夫	元京都府知事		理事	菅 泰男	京都大学名誉教授	
	山田 啓二	京都府知事			多田道太郎	京都大学名誉教授	
	岡本 道雄	京都大学名誉教授、前京都文化財団理事長	*		田中 恒清	石清水八幡宮宮司	*
理事長	荒巻 禎一	前京都府知事、京都文化博物館長	*		谷内 乾岳	神護寺住職	
副理事長	千 玄室	前茶道家元			角田 文衛	財古代学協会理事長	
	麻生 純	京都府副知事			堂本 元次	日本画家	
常務理事	安井 恒夫	京都文化博物館副館長	*		西村 恭子	美術プロデューサー	
理事	岩淵龍太郎	京都市立芸術大学名誉教授			藤田 哲也	京都府教育委員会委員長	
	岡田 節人	J T 生命誌研究館特別顧問			村井 康彦	京都造形芸術大学院長	
	門脇 禎二	京都府立大学名誉教授			村田 純一	京都商工会議所会頭	
	清水九兵衛	彫刻家			山本 壯太	NHK大阪文化センター総支社長	
	小畑 弘	京都府社会教育委員連絡協議会会長			下田 元美	京都府府民労働部文化芸術室長	*
	坂上 守男	(財)京都府観光連盟会長・(財)京都市観光協会会長		監事	岡田 博邦	(財)京都銀行協会専務理事	
	芝田 米三	洋画家			安西 信隆	京都府出納管理局長	*

\*印：2003年6月1日就任

#### (3) 京都文化博物館職員

2004年3月31日現在

所属	職名	氏名	担当業務	備考
総務課	館長	荒巻 禎一	館総括	財団理事長兼務 2003. 6～
	副館長	安井 恒夫	館業務総括	財団常務理事 2003. 6～
	課長事務取扱	石田 寿一	課総括	財団事務局長・本部事務局兼務
	参事・総務係長事務取扱	金田 曉	総務係	財団本部事務局兼務
	主幹兼経理係長	丹新 正雄	経理係	財団本部事務局兼務/2003. 4～
	主任	森木 礼子	経理係	財団本部事務局兼務
	主事	佐藤 幸央	総務係	財団本部事務局兼務
	参事(文化財保護基金室)	矢野 治彌	総務課兼務	財団本部事務局文化財保護基金室
事業課	課長補佐兼文化財保護基金室長	内村 悦郎	総務課兼務	財団本部事務局文化財保護基金室
	課長	新井田郁雄	課総括	～2004. 3
	主査	重本美根子	事業係	～2004. 3
	主事	磯野真知子	事業係	
	主事	森 雅樹	事業係	
	主事	海老名和孝	事業係	

学芸第一課	課長 学芸員（主任） 学芸員 学芸員 学芸員 主幹兼映像・情報室長 学芸員（主任） 嘱託	山本 俊介 藤本 恵子 長舟 洋司 洲鎌佐智子 野口 剛 井上 文夫 森脇 清隆 青木 完一	課総括 工芸担当 美術担当 工芸担当 美術担当 映像・情報担当 映像・情報担当 映像	
学芸第二課	課長（主任学芸員） 参事（主任学芸員） 主任学芸員 主任学芸員 学芸員（専門員） 学芸員（主任）	片岡 肇 鈴木 忠司 植山 茂 南 博史 土橋 誠 大塚 活美	課総括 歴史担当 歴史担当 歴史担当 歴史・文献担当 民俗担当	非常勤／2003. 4～ ～2004. 3

## 8-2 施設

### (1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1  
設計：京都府土木建築部営繕課・(株)久米建築事務所

施工期間：1986年10月～1988年9月

敷地面積：4,790.35㎡（別館を含む）

建築面積：3,481.04㎡（別館を含む）

延床面積：15,827.42㎡（別館を含む）

本館床面積内訳：

地階 2,242.42㎡／1階 2,265.29㎡

2階 1,853.39㎡／3階 1,908.79㎡

4階 1,442.19㎡／5階 1,442.19㎡

6階 1,218.28㎡／7階 1,010.43㎡

塔屋 182.88㎡

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造／一部鉄骨造

### (2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル菱屋町48番地

設計：辰野金吾・長野宇平治

施工期間：1903（明治36）年9月～1906（明治39）年6月

延床面積：2,261.56㎡

別館構造：建築面積—819.67㎡

煉瓦造、2階建一部地下1階

スレート・銅板葺、両翼塔屋付

旧金庫構造：建築面積—187.10㎡

煉瓦造、1階建、棧瓦葺

指定：重要文化財

指定名称—旧日本銀行京都支店

指定年月日—1969年3月12日

指定書番号—建第1,708号

## 8-3 ろうじ店舗

「ろうじ店舗」は当館1階にあり、江戸時代末期の京町家の外観を復元したものです。高倉通側には京料理などの飲食店、内側の路地には京物と呼ばれる伝統工芸品や土産物を扱う物販店が営業している。また、ろうじ店舗各店で作る「ろうじ店舗博和会」は当館の協力会として積極的に多彩な催しを開催し、本年は当館開館15周年記念「ろうじまつり」（9/2～11/30）を行った。本年度のろうじ店舗利用者は143,506人であった。

### ① ろうじ店舗一覧

◇紙の店—楽紙館

◇京しゅみ—菰軒

◇京のエッセンス18舗 名店会（順不同）

薫香—松栄堂 京の雅—古澤仙壽堂

京麩—半兵衛麩 京小間物—光悦

念珠—福永念珠舗 京菓業匠—若菜屋

京菓子—鼓月 京風雅便箋—表現社

京佃煮—野村 化粧小物—左り馬

宇治茶—福寿園 縮緬小物—くろちく

京扇子—とくの 京つけもの—西利

京象嵌—川人象嵌 竹の匠—高野竹工

八つ橋—井筒八ツ橋 京菓子—七條甘春堂

◇もち料理—きた村

◇手打ちそば・蕎麦料理—有喜屋

◇甘党茶寮—あけぼの（～2003年1月）	9月9日～15日	ろうじの古本市
◇エスプレッソコーヒーの店—コロラドコーヒー	9月17日～21日	生花市
◇織屋直販店 ショップ西陣（順不同）	9月23日～28日	ろうじの呉美の市
風呂敷—上羽機業 絹のれん—渡文	9月25日	ろうじまつり講演会
バック—小森織物 ネクタイ—段下二郎		京都青年会議所理事
シャツ—すぎむら 綴れグッツ—本つづれ勝山		長平井誠一氏「町衆
テーブルクロス—瀬川工芸織物		文化と商い—文化は
◇珈琲サロン(別館)—阿蘭陀館		商ビジネスになれるか？
◇ミュージアムショップ(3階)—便利堂		—」(6階)
②博和会・ろうじ行事	10月7日～12日	ろうじの呉美の市
2003年 4月17日～20日 ろうじの古本市	10月18日～12月5日	花灯路
4月23日～5月7日 京都府立図書館子ども読書絵てがみコンテスト	10月30日～11月3日	和紙と美術印刷の市
4月26日～5月25日 端午（鯉のぼり）	11月14日～16日	ろうじの呉美の市
5月10日～18日 ろうじの呉美の市	2004年 2月10日～29日	大阪府立茨木養護学校高等部歴史クラブ製作発表展
6月7日～7月7日 セタ（七夕飾り）	2月11日～3月31日	雛祭り
7月15日～17日 とうりゃんせ（京扇子とくの）	2月24日～27日	高倉小学校卒業生生け花展
9月2日～11月30日 ろうじまつり	3月19日～21日	ろうじの呉美の市



2003年4月23日 「府立図書館子ども読書絵てがみコンテスト  
入選作品展」(1階ろうじ)

## 9. 2003年度のあゆみ

※ 事項欄の「MH」は映像ホール、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室、「AE」は別館東室の省略

月 日	事 項	月 日	事 項
4. 1	人事異動	6.24	展示室運営委員会 (AL)
4. 5	京都の美術・工芸展「京都府所蔵品展—近年の収蔵品から—」開催 (3階/～7. 6)	7. 2	あねさん亭文博寄席「落語会」
4. 8	歴史特別陳列「年中行事絵巻 巻二 關白賀茂詣」開催 (2階/～ 5.18)	7. 8	歴史特別陳列「祇園祭菊水鉾巡行模型」開催 (2階/～ 8. 3)
4.12	自主企画特別展「京の葵祭展—王朝絵巻の歴史をひもとく」開催 (4階/～ 5.18)	7. 9	京都の美術・工芸展「京都洋画の現在—85人の視点—」開催 (3階/～10. 7)
／	歴史常設展展示解説 (鈴木/2階)	7.12	「安倍晴明と陰陽道展」開催 (4階/～ 8.17)
／	生涯学習ボランティア「MOKの会」2003年度総会	7.15	祇園祭の宵山に箏曲を聴く夕べ (AH/～16)
4.15	友の会 第1回文化講座 (京の葵祭展) (AL)	／	とうりゃんせ (～17)
4.17	音楽会<天才たちの若き日とその晩年>第四夜 (AH)	7.19	「安倍晴明と陰陽道展」講演会 (藤田氏/AH)
／	ろうじの古本市 (～20)	／	歴史常設展展示解説 (南/2階)
4.19	「京の葵祭展」講演会 (岡田氏/AH)	7.23	「安倍晴明と陰陽道展」講演会 (夢枕氏/AH)
4.20	あねさん亭文博寄席「落語会」	7.26	「安倍晴明と陰陽道展」講演 (旭堂氏/AH)
4.23	京都府立図書館絵手紙コンテスト (～ 5. 7)	／	「京都・洋画の現在」展ギャラリートーク (中原氏ほか/3階)
4.26	「京の葵祭展」演奏会 (平安雅楽会/AH)	／	ギャラリートーク (出品作家/3階)
／	端午 (鯉のぼり～ 5.25)	7.29	博物館実習第1組 (～ 8. 1)
4.27	「京の葵祭展」関連企画 歴史ウォーク「斎王の道をたずねて」	8. 2	日本映像学会関西支部 夏期ゼミナール (京都府立ゼミナールハウス)
5. 3	「京の葵祭展」講演会 (高木氏/AH)	8. 5	歴史特別陳列「陰陽道の周辺」開催 (2階/～ 9. 7)
5. 5	京都国際映画祭2002受賞作品上映	8. 6	友の会 第2回文化講座 (安倍晴明と陰陽道展) (AL)
5.10	「京の葵祭展」講演会 (猪熊氏/AH)	8. 7	上方ルネッサンス2003 楽劇の祭典 (MH/～10)
／	ろうじ店舗博和会「呉美の市」(～ 5.18)	8. 9	歴史常設展展示解説 (土橋/2階)
5.16	修学旅行夜の体験学習「蹴鞠」(AH)	／	「京都・洋画の現在」展シンポジウム「描くということ」(芝田氏ほか/AH)
5.17	歴史常設展展示解説 (土橋/2階)	8.14	名作映画リクエスト特集30位～23位上映 (MH/～ 8.31)
5.20	歴史特別陳列「旧梅屋小学校跡地発掘調査」開催 (2階/～ 7. 6)	8.28	音楽会<天才たちの若き日とその晩年>第六夜 (AH)
5.21	修学旅行夜の体験学習「蹴鞠」(AH)	8.30	「遊べや遊べ！子ども浮世絵展」開催 (4階/～ 10. 5)
5.22	京都文化財団監事監査	9. 2	博物館実習第2組 (～ 9. 5)
5.24	「MOKの会」研修 (第1回新会員対象オリエンテーション)	／	ろうじまつり (～11.30)
5.26	第37回京都文化財団役員会 (京都府公館)	9. 4	名作映画リクエスト特集22位～15位上映 (MH/～ 9.28)
5.29	修学旅行夜の体験学習「蹴鞠」(AH)	9. 6	歴史常設展展示解説 (大塚/2階)
5.30	「今日の人形芸術—想念の造形」展開催 (4階/～ 6.29)	9. 9	歴史特別陳列「坂本龍馬の手紙—幕末の京都」開催 (2階/～10.13)
5.31	「MOKの会」研修 (第2回新会員対象オリエンテーション)	／	ろうじの古本市 (～15)
6. 1	荒巻禎一館長、安井恒夫副館長就任	／	別館常設展示第50回「養蚕の道具/新収民具/京の郷土玩具 (3)」(AE/～12. 7)
6. 7	七夕 (七夕飾り～ 7. 7)	9.13	「MOKの会」9月例会
6.10	音楽会<天才たちの若き日とその晩年>第五夜 (AH)	／	「子ども浮世絵展」講演会 (中城氏/AH)
／	別館常設展示第49回「山仕事の道具/京の郷土玩具 (2)/月岡雪鼎と雪斎/妖怪画・幽霊画」(AE/前期～ 7.21、後期～ 9. 7)	9.15	「子ども浮世絵展」講演会 (黒田氏/AH)
6.11	修学旅行夜の体験学習「蹴鞠」(AH)	9.17	京都府映像文化センター運営委員会 (7階サロン)
6.14	「MOKの会」6月例会	／	生花市 (～21)
／	歴史常設展展示解説 (南/2階)	9.20	「MOKの会」SKYふれあいフェスティバル 2003 参加 (～21)
／	「今日の人形芸術」展ミュージアムトーク (四谷・今井氏/AH)	／	「京都・洋画の現在」展ギャラリートーク (平岡

月 日	事 項	月 日	事 項
9.21	氏ほか／3階) 「子ども浮世絵展」紙芝居と絵本の読み聞かせ (牧井氏／MH)		／彩り豊かな「伏見人形」総集編」(AE／～ 2004. 3. 7)
9.23	ろうじの呉美の市(～28)	12.11	第3回活性化検討会(AL)
10. 2	音楽会<音楽と舞踏>第一夜(AH)	12.13	歴史常設展展示解説(大塚／2階)
◇	名作映画リクエスト特集14位～11位上映(MH ／～10.12)	12.14	「アンコールワット拓本展」ギャラリートーク (道浦氏／4階)
10. 4	第1回活性化検討会(AL)	◇	日本映画テレビ技術協会特別試写会(MH)
10. 7	「MOKの会」文化庁ボランティア推進モデル事 業研修講座	12.16	歴史特別陳列「長刀鉾町遺跡」開催(2階／～4. 4)
◇	友の会・「MOKの会」共催「日本の童謡コンサ ート」(AH)	12.17	音楽会<音楽と舞踏>第二夜(AH)
◇	ろうじの呉美の市(～12)	12.21	「アンコールワット拓本展」ギャラリートーク
10.15	歴史特別陳列「狩野益信筆 洛中洛外図屏風」開 催(2階／～11.16)	2004. 1. 6	「アンコールワット拓本展」ギャラリートーク
10.18	自主企画特別展「KYOTO 映像フェスタ～フィ ルムルネッサンス」開催(3・4階／～11.30)	1.10	「MOKの会」1月例会・文化庁ボランティア推 進モデル事業研修講座
◇	「映像フェスタ展」講演会(手塚氏／AH)	◇	歴史常設展展示解説(南／2階)
◇	花灯路(～12. 5)	1.19	第4回活性化検討会(AL)
10.22	名作映画リクエスト特集10位～6位上映(MH ／～10.26)	1.24	「京都美術工芸新鋭選抜展～2004新しい波～」開 催(4階／～2. 8)
10.25	歴史常設展展示解説(植山／2階)	1.25	第76回文化財研修講座(AH)
10.28	イタリア無声映画の上映とピアノ伴奏(AH/ ～30)	1.27	修学旅行夜の体験学習「京舞」6階
10.29	「MOKの会」文化庁ボランティア推進モデル事 業研修講座	1.28	「MOKの会」文化庁ボランティア推進モデル事 業研修講座
10.30	和紙と美術印刷の市(～11. 3)	1.30	「京都府美術工芸新鋭選抜展 2004新しい波」授 賞式
11. 5	展示室運営委員会(AL)	2. 3	京都の美術・工芸展「人形と子どもの衣装」開幕 (3階／～4. 4)
◇	文化庁芸術祭(AH／～11.19)	2. 6	音楽会<音楽と舞踏>第三夜(AH)
11. 8	「MOKの会」11月例会・文化庁ボランティア推 進モデル事業研修講座	2.10	修学旅行夜の体験学習「京舞」6階
11.12	「MOKの会」第6回学習ひろば参加(於：京都 府立堂本印象美術館)	◇	大阪府立茨木養護学校高等部歴史クラブ製作発 表展(～29)
◇	第2回活性化検討会(AL)	2.11	雛祭り(～3.31)
11.14	ろうじの呉美の市(～16)	2.19	「ヨルダン・シリア博物館導入コース」研修(AL)
11.15	「まちなかを歩く日」(～16)	2.21	「MOKの会」文化庁ボランティア推進モデル事 業研修講座
◇	「関西文化の日」(～16)	◇	「鉄腕アトムの軌跡展—空想科学からロボット文 化へ1900～200X」開催(4階／～3.28)
11.16	シンポジウム「映画文化の振興と保存—地域アー カイヴの試み」(AH)	◇	歴史常設展展示解説(鈴木／2階)
11.18	歴史特別陳列「『源氏物語』名場面集」開催(2 階／～12.14)	2.24	展示室運営委員会(AL)
11.21	京都国際学生映画祭(AH／～11.23)	◇	高倉小学校卒業生生け花展(～27)
11.23	あねさん亭文博寄席「落語会」	2.28	「MOKの会」文化庁ボランティア推進モデル事 業研修講座
11.24	名作映画リクエスト特集5位～1位上映(MH ／～11.30)	3. 6	「鉄腕アトムの軌跡展」講演会(中津氏／MH)
11.29	「MOKの会」文化庁ボランティア推進モデル事 業研修講座	3. 9	別館常設展示第52回「春の農具／中国東北地区 の玩具／装いを楽しむ 江戸時代女性の小袖と飾 り」(AE／～6.13)
◇	歴史常設展展示解説(土橋／2階)	3.13	「MOKの会」3月総会
12. 6	京都の美術・工芸展「日本画のできる時—写生・ 素描・下絵・本画／手描き友禅の作品と工程見 本—」開催(3階／～2004. 2. 1)	◇	歴史常設展展示解説(片岡／1階エントランス ホール)
12. 9	「アンコールワット拓本展」開催(4階／～1. 3)	3.19	ろうじ店舗博和会「呉美の市」(～3.21)
◇	友の会 第一回見学会(西本願寺書院・同御影 堂修理現場)	3.21	あねさん亭文博寄席「落語会」
◇	別館常設展示第51回「紡織具／丹後の裂き織り	3.29	第38回京都文化財団役員会(京都府公館)
		3.31	研究紀要『朱雀』第16集刊行
		◇	『2002年度年報』刊行

---

## 京都文化博物館2003(平成15)年度年報

発行日 2005年3月31日  
編集・発行 京都府京都文化博物館  
〒604-8183 京都市中京区三条高倉  
TEL 075-222-0888  
FAX 075-222-0889  
印刷 (株)燈影舎